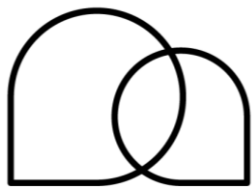


あさがやまちづくりセッション 第8回 後半

跡地活用アイデアを紹介しよう！
アイデアを深掘りし、共有しよう！





岸本聡子区長の挨拶

あさがやまちづくりセッションにお集まりいただき、ありがとうございます。
本セッションは、まちの将来像を共に考えていくための対話の場として実施してきました。
今回は定員を上回る応募をいただき、地域の皆様の関心の高さを感じています。

杉並第一小学校は、杉並区で最初に設立され、150年周年を迎えた歴史ある学校です。
その跡地の有効活用にあたっては、地権者の方と連携をしながら、より丁寧で慎重な合意
形成のもと、阿佐谷の発展のため、区民の皆様と阿佐谷の未来を描きながら、共に進めて
いきたいと考えています。

阿佐ヶ谷駅前という、杉並区・阿佐谷の「顔」とも言える重要な拠点における、防災、医
療、教育、歴史、緑といったテーマについて皆様の話し合いを興味深く聞かせていただき
たいと思います。

あさがやまちづくりセッション第8回【後半】 開催当日の流れ

区からの説明
前半の振り返り、区からの補足説明等

約15分

発表
アイデア・提案した理由の

約20分

活用アイデアの
イメージを膨らませる

約25分
(休み10分)

50年後・100年後
どうなっていくのか

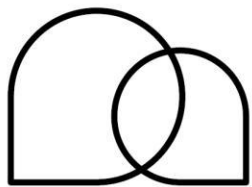
約30分

全体共有（発表）の準備

約10分
(休み10分)

全体共有

20分



グループワーク



STEP 1

考えてきた活用アイデア、提案した理由を1人ずつ発表

跡地活用 **アイデアシート** を模造紙に貼り、アイデア・提案した理由を発表しました。

STEP 2

活用アイデアのイメージを膨らませてみましょう

- ①みんなのアイデアについて疑問点を質問しました。
- ②自分のアイデアをより良くするために「どんな人が、どんな活動をするか」を考え、**ピンク付箋** に起こしました。
- ③付箋の内容を共有し議論しました。

STEP 3

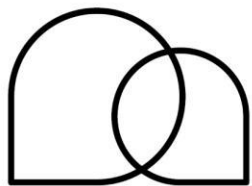
跡地やその周辺地域が50年後、100年後どうなっていくのか考えてみましょう

- ①アイデアが近いものを、みんなでグルーピングしました。
- ②グルーピングしたアイデアがカタチになった場合に、跡地やその周辺・阿佐谷のまちが、50年後、100年後にどんなまちになっていくのかを考え話し合い、**青付箋** に記しました。

STEP 4

まとめ

全体共有の準備をし、グループごとに発表を行いました。



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています

※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

①アイデア

阿佐谷防災体験・研修センター

若い層(子ども含)から高齢者まで、模擬体験も行いながら災害に備える心を育てる場を創る。

1. 阿佐谷・高円寺地区は都の震災危険度ランクは4で最上位にある
→【現状】

2. 今後、まちがいなく大震災に直面する子どもや若者にこそ、必要な場となる
→【将来】

3. 都内にめずらしい防災体験研修センター設置は他の自治体の模範となりシンボルともなり得る。
→【シンボル性】
要は、街の防災性能向上を目指すハード事業に応しい施設と考える。床を生み出す
→【事業の整合性】

②アイデア

みんなが集うみどりと防災の スペース

[跡地と周辺の条件]

- ・JR駅前で人が集まりやすい
- ・三方をみどりに囲まれる
- ・周辺にお店が多い
- ・病院と学校が隣接。大通りに面し、周囲より高台で、防災拠点としての条件がそろう

[内容]

- ・オープンスペース: 平時と災害時の両方で活用・樹林などみどり空間: 病院への配慮、グリーンインフラとしても機能させる
- ・畑・花壇・ビオトープ・雨庭など、みどりの維持管理に継続的に関われるしかけ
- ・ホール: 集会施設的なものに。子どもが遊べる場所を加えた建物(産業商工会館を活用)

④アイデア

第2のゆう杉並

小～高校生の遊び場
天候などに関係なく大人数でも楽しめる

③アイデア

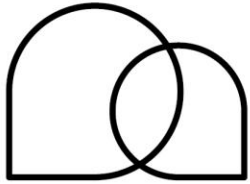
防災公園、イベント会場(会館)

- ・防災公園(広場)
- ・芝生広場
- 防災 平常時利用
- ・イベント会場(会館): 5300㎡
- ・座高円寺: 1650㎡
- ・産業商工会館: 999.34㎡
- ・杉並会館: 2919.2㎡
- ・馬橋公園: 209㎡
- ・阿佐谷けやき: 3998.39㎡
- ・ザムザ阿佐谷: 129席: 400㎡
- ・多機能ビル: 1500㎡
- ・非常時平常時の利用
- ・商工
- ・多目的ホール
- ・図書館
- ・集いの場(カフェ等)
- ・国際交流
- ・持続的利用
- 負担のかからない
- 基本的黒字
- 緑地率??

⑤アイデア

運動施設

杉一のプールを残す大人でも定期的に運動する場所



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています

※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

⑥ アイデア

広場と豊かな緑があり、阿佐谷の大人も子供も集まり、寛ぎ、賑わう
複合施設(図書館分室、体育施設、子供が楽しめる屋内施設など)

[理由・説明]

- ・ポイント: 駅至近の極めて希少な立地(住民の期待が大きい)
- ・これといった施設の無い阿佐谷で、立地・ポテンシャルを最大限に生かし、住民が親しむ街の新たな顔(シンボル)となる施設とすべき
- ・多くの人が訪れ憩い・寛ぎ・賑わいやつながりが生まれる場所
 - 普段は子供が遊べ、イベント開催時にはキッチンカーなども設置できる広場
 - 大人も子供も寛げるカフェ等の店舗(広場周辺)
 - 広場との一体利用も可能な連続性のある、エントランス・一階フロア
 - 寛ぎと文化・教育の機能としての図書館分室
 - 住民の健康維持・向上や繋がり創出のための体育施設(体育館・プール)
 - シンボルとなる特徴的な外観の形状。時計等の装飾
- ・阿佐谷の特徴である駅前からの豊かな緑の創出
- ・中杉通りや寺社等の緑と連なった伸びやかな緑の創出(建物や広場周辺・屋上の樹林、庭園化など。大手町タワー参照)
- ・住宅密集地域や狭い道路の多い阿佐谷の特性を踏まえ、防災訓練や啓発ができ発災時には防災の拠点等ともなる機能(新・杉一小との連携役割分担を考慮しつつ)
- ・避難所などに活用可能な設え
- ・雨庭や太陽光、蓄電池など実用と啓発を兼ねた装備

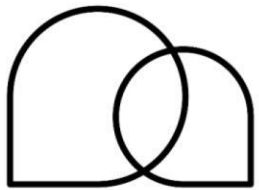
⑦ アイデア

多目的ビル

阿佐谷や地域および杉並区民が利用できる
多目的ビル

内容

- | | |
|-----|--------------------------------------|
| 1 階 | いこいの場(大人用) |
| 2 階 | いこいの場(小人用)
工作教室、折り紙教室などの教室を
併設 |
| 3 階 | 郷土歴史資料室および杉並区の出版
物の閲覧室 |
| 4 階 | 図書室
阿佐谷文士材資料室(現在は阿佐谷
図書館) |
| 5 階 | 美術館および展示室 |
| 6 階 | 演劇・コンサートホール |
| 7 階 | レストラン(パーティも可能なもの) |



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています

※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

⑧ アイデア

地域住民のリビングのような憩いの場

- ① 図書館、美術館、器楽室、小～大学生まで楽しめるスペース 乳幼児が室内で遊べるスペース付き
- ② 手前には屋外ステージ 奥は講堂になっています 事前予約すれば利用可能
- ③ メインの建物の前には花壇があり、小学校に植っていた植物がたくさん 杉一の桜も会えます
- ④ ステージ前にはご飯や休憩ができるテーブル机
- ⑤ 杉一の跡地とわかるように色違いの芝生が植えてあります。ナミすけなどワクワクを連れてくるようなモニュメントがあってもいいかも？と思っています。
- ⑥ 芝生には園児でも遊べる遊具
(グループ内で出た雨庭やプールなどの施設もあると素敵だと感じます。今回私のグループのアイデアを中心にまとめてみました。子育てをしていたり、かつてダンスやジャズをやっていたので、そういったことがたくさん反映されています。)

⑨ アイデア

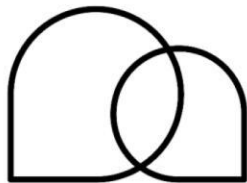
ステージ付多目的ホール

- ・女性芸人の育成ステージ(阿佐谷姉妹を中心に)
- ・イベント時のステージ
- ・発表の場
- ・講習会やコミュニティの中心←集会所

⑩ アイデア

魅力再発見の拠点

- ・隠れた魅力を伝える場所
- ・東京ばな奈1号店
- ・芸術と文化の街(特にアニメ)
- ・お笑い芸人が多い
- ・季節イベント(七夕祭りは日本3大)
- ・飲食店の本店が多い(グルメの街)



グループワーク
模造紙の文字起こし

絆のまち あさがや

大人も子供の楽しめるシンボル
(コミュニティの拠点)
(世代の循環)

大人も子供も何世代でも

大人から子供まで阿佐ヶ谷に住む人が親しみつながりが生まれる。(のちの地域の活力に)

多目的コミュニティASAGAYA

誰でも気軽に集える街

どんな世代でもいろんな人が集う街

⑤アイデア

⑨アイデア

⑥アイデア

④アイデア

⑩アイデア

⑦アイデア

⑧アイデア

ここに来ればひとまず安心

防災

①アイデア

③アイデア

- ・ミニ立川防災館
- ・ミニ本所防災館
- ・ミニソナエリア
- ・防災体験館

類似施設区営
(・品川区・練馬区・北区)の3つある

②アイデア

- ・阿佐谷に来る人すべて(区内外)
- ・子供も大人まで(イベントなど)

病院の患者と付き添い者
(落ち着いてくつろげる場所)

気軽に利用できるレストラン、ランチ(利用者がいれば継続的)

学校教育の一環としてみたら

気軽に誰でも(子育て、学生、社会人、高齢者、障害者ハンディギャップ)

多機能ビル(主旨:非常時、平常時の利用、継続的利用。機能:多目的ホール、図書館、国際交流、レストラン、憩いの場)

遊びながら防災を学べる

施設を訪れた人が気軽に足を運びたくなる図書館(図書に興味を持つきっかけ)

気軽に利用できる最上階のレストラン(多目的施設内)

誰でも利用できる場所

阿佐ヶ谷に来た人全員(外国人、障害者、子育ての人、子供、大人)

地下に器楽室(防音施設)を作る
(芸の練習でもなんでも大声でできる)



班

グループワーク

活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

模造紙の写真

活用アイデアのイメージを膨らませてみよう

跡地とその周辺地域が50年後・100年後どうなっていくのか考えてみよう

A 班

2025. 10. 26

どの世代でも
いろんな人が
集う街

目的
I₂ = T₁
ASAGAYA

誰でも
気軽に
集える街

糸のよち
あどがや

ここに来れば
ひとまず安心

防父
~~三三三三三~~
~~去去去~~

[illegible]

- ・三立川防災館
- ・三本所防災館
- ・三ソナリア

防災体験館

類体施設
① 区
品川区 } の3つ
練馬区 } がある
北區 }

[illegible]

大人も子供も
楽しめる シンボル
(コミュニティの拠点)
(世代の循環)

大人も子供も
何世代でも

[illegible]

大人から子供まで。
阿波の谷に住む人
々が親しみ。
つなぐ^{つなぐ}が生まれる。
(地域の活動に)

施設を訪れた人の
気軽に足を運ぶた
る図書館
(図書館に興味をもつ
きっかけに)

緑地活用アイデアシート（検討用）
 所在地： 東京都 台東区 上野公園 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺
 アイデア： 運動施設
 アイデアを考えた理由や内容の説明など：
 桜・アールに花す
 大人でも定期的に運動する
 場所

遊地活用アイデアシート（様式用）

アイデア：『第2のゆり村』並
アイデアをもった理由や内容の説明など：

小・高生との遊び場
天候にも関係なく
大人数でも楽しめる

陸地運用アイデアシート (検討用)

町田 真太郎 (一橋大学) 田中 浩二 (一橋大学)

①

アイデア: スピーチ 村 野 的 ロール

アイデアを考えた理由や内容の説明など:

- ・ 女性委員の育成スピーチ
- (1府1県各1峰々を中心に)
- ・ イベント時のスピーチ
- ・ 発表会の場
- ・ 議会やフェスティバルの中心
- 集会所

緑地活用アイデアシート (緑地活用)

① 緑地活用アイデアシート (緑地活用) ② 緑地活用アイデアシート (緑地活用)

アイデア: **緑地を再発見の拠点**

アイデアを考えた理由と内容の説明など:

歴史と文化を伝える場所

- ・東京は口伝 (書店)
- ・美術館は文化の街 (特にアニメ)
- ・お笑い、芝居、音楽
- ・季節イベント (セゾンのイベント)
- ・観光客の滞在スポット (ホテルの街)

[illegible]

阿佐谷に來り
人々へ(区内外)
30名以上大人数
(バントなど)

便輕に誰にも
 子下にて 博愛10
 一生 11/24
 社会人 707
 高小者

多機能EIL
結: 非常時、平常時、
通常の利用
FIRE:
多目的利用
国勢計
国際交流
KELI

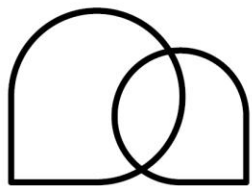
遊にしながら
防災と学べる

最上質のレスタン
(多目的施設内
での利用も可能)

それでも
利用できる
場所

阿佐ヶ谷に
来た人全員!
外国人・障害者・
子供の人、子供、大人
etc

地下に
音楽室(防音しつ)
をつくる。
(あの練習室でそんなで
大勢でやる)



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

- ※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています
- ※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

① アイデア (無題)

阿佐ヶ谷駅北口駅前を歩行者の歩行空間、車の流れを。
駅北東地区発展に杉一跡地を考えてみる。
跡地の一部が樹木と葉の木漏れ日のある空間。

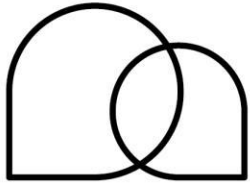
② アイデア 「知と未来」を体現できる場

- ・産業商工会館の講座室(ホール)の代替。
- ・Wi-Fi付きその他設備の大きな会議室又はホール
- ・地下に貸し倉庫のようなレンタルスペース(保管庫)と作業所(町会の荷物、七夕張りぼて等の作業できるところ)の設置(もちろん防災とくに帰宅困難者に)
- ・多文化を知る場。
- ・大学などの研究室のサテライト的なもの。
- ・圧倒的足りない会議室。
- ・スモールオフィス+オープンスペース
- ・1F病院側と回流できてオープンカフェ

そもそも杉一小の建替えでもいいような？

③ アイデア (無題)

- ・杉並区に美術館を。
- ・図書館。
- ・ワーク・スタジオ
- ・子供ひろば
- ※次世代につながる文化の向上。
過去の歴史文化も展示で知る。
- ※区民の交流の場
- ※小中学校の絵画コンクールを



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています

※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

④ アイデア (無題)

地下 ホール(多数入場できる講堂)

1F 図書館・展示会場・カフェ

2F 会議室・教室

3F 保育室・自由スペース

4F 屋上 植物・花・展望台

学校の桜の木、植物・歴史があるものにつ
いてはできるだけのこしておきたいです。
入口は、気持ちの良い庭づくりを希望いた
します(バリアフリーあり)。

人々が立ち寄りたい場・いやしの場である
こと。

子～高齢者、障害、海外の皆さん利用しや
すい。

⑤ アイデア

杉並(阿佐谷)のシンボル・ にぎわいの町

大型児童厚生施設

大型多世代多機能文化交流施設

大型文化施設

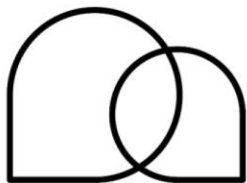
大型スポーツ施設など建設

理由

・予算を集中して使い、シビックエリアに
利用者の利便性を向上させる

・地域格差の解消を図る

☆問題点 他の地域に先に作るべき公共施
設があるのでは



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています

※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

⑥ アイデア

区財政に優しい公共施設 移転建設 福祉の町

障害者関連施設
高齢者関連施設
保育園・図書館
児童厚生施設
等の移転、建設(区が借りている物件)

理由

- ・利用者の利便性が向上する
- ・移転先に新たな施設が建てられる
- ・1カ所にまとめた方が方が効率が良い
- ・再移転しやすい
- ・区の施設が入れば地権者も安心

☆問題点

- ・地域の人々の理解が必要

⑦ アイデア

区財政に優しい みどり・防災・やすらぎの町

あそび場
最低限の公共施設
防災ひろば
みどりの森 等の建設

理由

- ・建物解体後あそび場にする(公園にする
と用途変更が大変)
- ・区役所の建替問題に多面的な検討が
できる
- ・整備費が少なくてすむ
- ・災害時の一時避難場所になる

⑧ アイデア

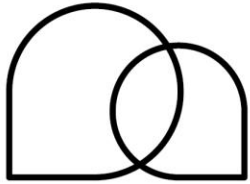
(無題)

・第一の希望は、杉並第1小学校は現在の所
で建てなおす。
・「ふらっと杉並」又は「フラット阿佐谷」

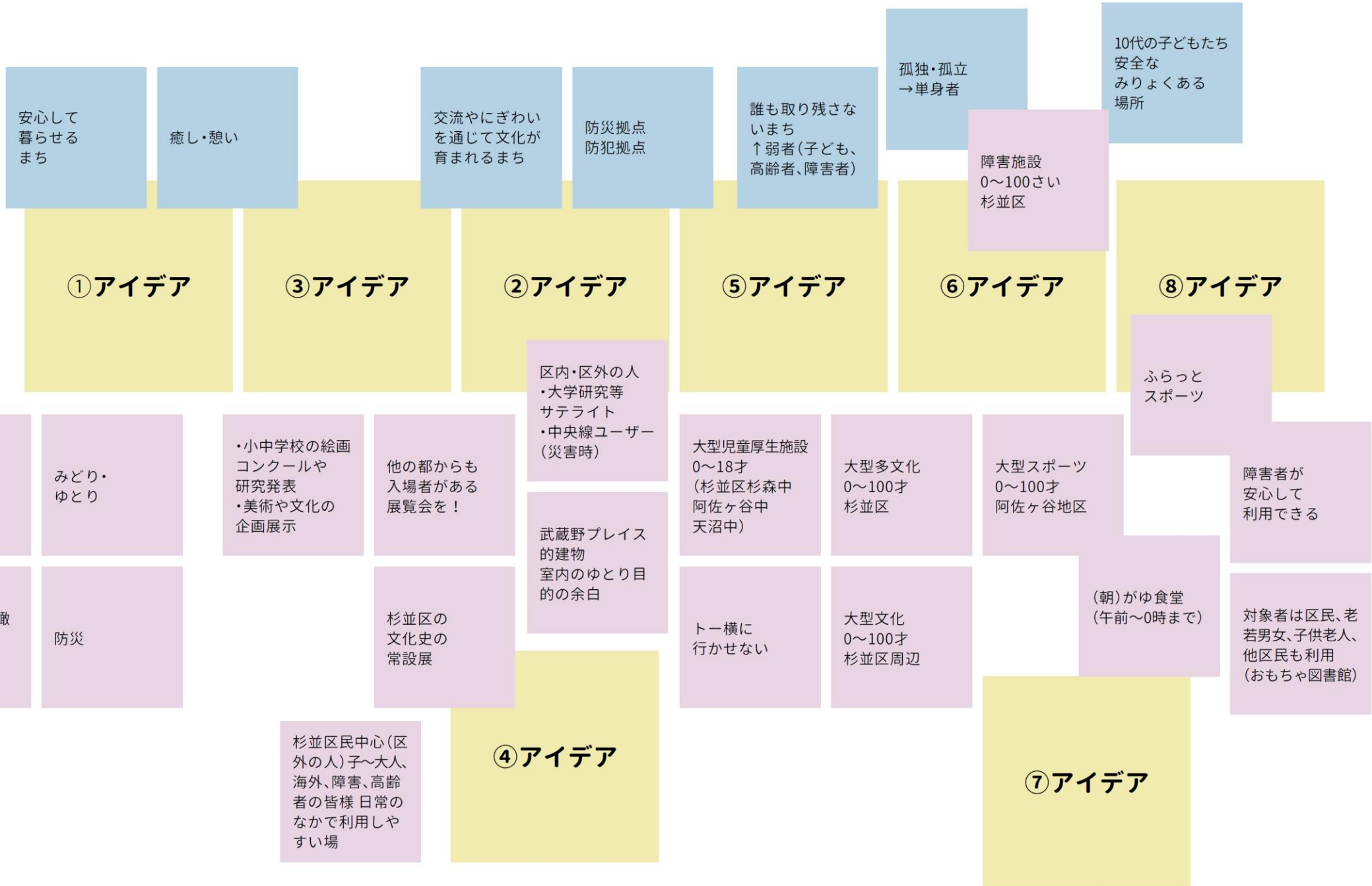
- ①ふらっと図書室、子どもへの読み聞かせ
等を導入
- ②ふらっとおもちゃ図書室 健常児から
障害者まで
※おもちゃ図書館は都内各所や全国的に
はあります。杉並区にはない
- ③ふらっと“朝がゆ食堂” 子供食堂のよう
にだれもが小額で利用出来るように
- ④心のなやみ室 その人のなやみをカベ
にはって、専門家やだれにも回答を
- ⑤ふらっとスポーツ 体操やウォーキン
グ、ダンス

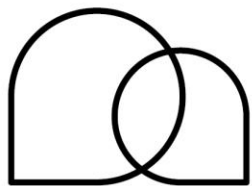
注)

- ①国の交付金 利用(内容によっては)
- ②バリアフリー(EVのブースを大きく)
- ③女性トイレの方を多く作る
- ④水分補給コーナー
- ⑤ホームレス対策(不快なおおいに注意)
- ⑥ボランティアさんを募集する(特典が
あってもいいかな)
- ⑦交番がない 北口に



グループワーク
模造紙の文字起こし





グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています

※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

①アイデア

利用者が安全・安心に過ごせる 心地よい空間

利用対象者：子ども（想定者：働いている
親）、高齢者、一人の時間を過ごしたい人
（休憩場所）

欲しい機能：

- ・樹木や花壇のある原っぱ、ベンチ
- ・子どもだけでも誰でも利用できる 図書
室・勉強室・映写室・保育室
- ・周囲から内部（利用者）を守る壁となる建
物

派生効果：

- ・区主催の公共イベントの拠点
- ・シニア等の雇用創出
- ・災害発生時の防災拠点

②アイデア

老朽化した施設の集約と様々な試みに対応できる施設

広大な床面積（26,000㎡）かつ駅前といった利便性から、一つの用途に絞った施設とは
せずに、複数の用途として計画することが良いと考えます。

複数の用途として、どのようなものがあるのかを考えた場合、老朽化した杉並区内の
施設が一つのアイデアとして浮かびました。老朽化した施設かつ杉一跡地に移設でき
そうな設備を前回（9月20日）頂戴した資料から考慮した結果、（以下の詳細1参照）約
10000㎡となり全ての床面積を使いきれないと推測されました。

残りの床面積約16,000㎡は前回のディスカッションでできた様々な試みに対応してい
る設備とすることを提案します。（以下の詳細2参照）

詳細1 老朽化した施設の集約

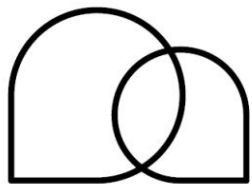
前回頂戴した資料から築50年以上かつ杉一跡地に集約移転しても良さそうな設備を
数えて以下に示した

図書館	2ヶ所	約3165㎡
会館、会議室	4ヶ所	約3513㎡
高齢者支援設備	6ヶ所	計1054㎡
児童館 / 適応指導教室	3ヶ所	計1013㎡
アニメーションミュージアム	1ヶ所	882㎡
		合計9627㎡

詳細2 様々な試みに対応できる施設

前回の班分けでC班となりましたがその中で以下のようなアイデアが出ました
賑わいの拠点 場/挑戦・実験できる場/地域イベントの拠点となる場所

上記のような場合は都度企画・イベントの趣旨によって建物の使い方が変わってくると
考えます。違う目的・趣旨により内装・部屋割りが比較的容易な建物・設備とすること
を推奨します。



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

- ※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています
- ※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

③ アイデア

杉ーキャンパス？ ラボ？
(全ての人の学びとトライを支
える学校のような場所)

「杉ー」というアイデンティティを残しつ
つ、この場が訪れる人たちにとって、元
氣がもらえるような、リラックスでき
るような、安心して挑戦できる余白
のある空間を目指す。地域住民のや
りたいをカタチにできる。そのた
めに、「集う」「表現する」「試
す」が可能となる環境設定をする

論点の一つであった「防災」は、機
能面(ハード面)では、河北病院と
連携。ソフト面は、「集う」ことが
助け合う関係を生む。

上記のことから、学校だったことの
良さを良く生かしつつ人が集い、わ
いわい楽しみながら自分たちで自
治していくことをサポートするよう
な場。

ふらっと立ち寄りたくなる場のイ
メージ 決めつけた場というより、
クリエイティブに創り続けられる
場。(住民をお客さんにしない)
(小学校にいたみどりのおじさん
的な人と施設)

④ アイデア

全ての人の「憩い」と「集い」の場

(杉並区で育った幼馴染と家族への
ヒアリングを元に)

全ての人…だれもが

「憩い」…ヨーロッパの広場のイ
メージ (芝生・噴水 など)。

ビオトープ・パーマカルチャー

「集い」…やりたいことを実践でき
→ テントが借りられて、一時的な
ポップアップ ショップを展開でき
る。

⑤ アイデア

杉並 よりみちの森

私たちはいつもせわしなく”目的”
に向かっている。でも寄り道をする
と、思いがけない「発見」や「出
会い」がある。

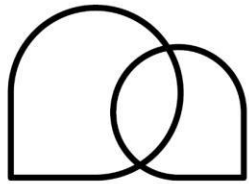
「杉並 よりみちの森」は、公園でも
商業施設でもない(心のよりどころ
になる 寄り道が楽しい)都市の森
です。

デザイン

- ・外と内の境界があいまい設計
- ・五感にひびく自然デザイン

活動のしくみ ～ いつも新しい発見がある

- ・オープンイベント(マルシェ・
ファーマーズマーケット)
- ・実験的ショップ(クリエイター・
学生)
- ・区民参加型のワークショップ
- ☆地域の多様な知恵と経験を分か
ちあうプログラム
- 外国人や高齢者の方々が講師や
語り手になるとおもしろい！多
世代・多文化が学びあう「共生
の森」
- ☆固定テナントではなく、入れ替
わり・変化を前提とした「実験
の場」
- 森が呼吸するように育っていく



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています

※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

⑥ アイデア

大人も子どももみんな楽しく

- 全ての世代が過ごせる居場所
- 地域との関わりが減っているので、防災
や多世代交流の拠点

繋がりたい人がいるのに既存のシステム
の中で、どう繋がれば良いかわからない
人も多いはず。

→ これが機能すれば、防災・防犯につな
がるのでは？

→ でも、ただ場所があるだけではつま
らない。

→ 知(図書館)と人(杉並独自の活動の
ある人など)を組み合わせ、様々な情報
を発見発信する

⑦ アイデア

文化・教育を軸とした にぎわい拠点

杉一小の歴史、阿佐谷文士村の歴史を継承
文化・教育機能の集客能力に期待

必須機能: 図書館

付加機能: 子どもの成長に関連、多世代交流(学童保育、塾、生涯学習、
クリニック、ホール、アスレチック)

[例] 大和市シリウス、こどもでぱーと

防災支援: 太陽光発電+蓄電による緊急時電源供給

その他: 余裕があればアニメ等新産業支援

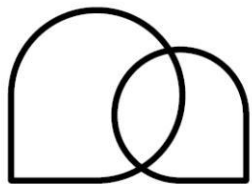
• 阿佐谷のまち全体への貢献

子育て世代の住みやすさ向上 防災機能強化(インフラ整備+一時避難支援)
公共施設再編へのきっかけ。

中杉通り歩道は拡幅してウォーカブルに。

実施にあたっては、民間の知恵・能力を活用(PPP/PFI)

• 長期に亘る建設期間中(場合によっては移動後も)の工夫。暫定利用
他の再開発中の一時利用、スタートアップへの低賃料賃貸等



グループワーク 模造紙の文字起こし

どんな時代
でも人間が
集える場所

時代が変わっても
集まるまち

① アイデア

働いている親が
帰ってくるまで
安全に待っている
ことができる
保育室、図書室
(平日)

高齢者がきて
(行って)文化や
知識に触れたり、
参加ができる場
所(とりあえず
行ってみる)

親子や友人と映
画や音楽にふれ
ることことがで
きるところ
(休日)

どんな人
・平日:子供
図書館、児童館etc
・休日:大人
イベントやりたい
何か試したい

どんな使われ方
アイデア次第
アイデアを具体
化する人がいる
かも...

② アイデア

⑥ アイデア

①杉並区民
②ときどき他自
治体に住む人

・誰も否定しない
場所
・気軽に来る
行くことができる
・癒される

③ アイデア

アイデアが実現
する気が
する、そんなこと
を思える場

目的があるわけ
ではなくても
とりあえず行け
る場

④ アイデア

仕事終わりに
ホッと一息
嫌なことがあった
日も立ち寄れる

ピクニック
したくなる
ような

⑤ アイデア

通勤、通学の途中にフ
ラッと病院の行き帰り
にチョコッと学校帰り
の子供たちも

高齢者を中心とした
経験 知恵の共有
外国人が自国の文化
をシェア

学生やクリエイター
の実験地
農家の人 フレッシュ
made in asagaya
ためしてみたい人
"try"

⑦ アイデア

共働きの親が子
供に施設を安心
して利用させる

子育て世代のに
ぎわいに高齢者
も関与する
(読み聞かせ)

多世代の人が活
発な空間を見て
ホッとする

新陳代謝が
断えずある

愛される場所で
あり続ける

川の流れのよう
に人が
変わっていく
まち

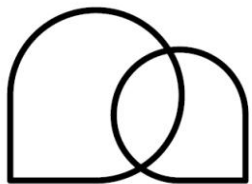
にぎわいが
未来へと続いて
いくまち

高齢者を含めて、
今の知恵を未来
につないでいく
まち

多世代が
かわり合える
まち

目的をかなえる
ことが
できるまち

子育て世代に
求められるまち



グループワーク

活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

模造紙の写真

2025.10.26

活用アイデアのイメージを膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が **50年後、100年後** どうなっていくのか考えてみよう

[illegible]

語地活用アイデアシート (独対用)
 問題文: カナート・モリスは2012年、(国)の危機を助けたことで、
 アイデア: 大人も子どももみんな楽しんで
 アイデアを考えた理由や内容の説明など:
 ・全ての世代が通える場所
 ・地域との関わりが; 既にあるので
 防災も多世代交流の拠点。
 ・繋がりたい人がいるのに、既存の
 システムの中で繋がりづらいから
 わかる人も多いはず。
 ・これが機能すれば、大震災、大震災
 に繋がれるのでは?
 ↓
 でも、ただ場所があるだけでは
 元口(図書館)と人(形造)独自の活動
 の人々から、その場所が、何かある
 価値がある
 ① 移住区民
 ② さまざまな
 他地域に住民
 人
 誰も否定しない
 場所
 気軽に来る、行く
 ことができる
 病める
 病める

[illegible][illegible]

目的をかなえる
ことが
できるまち

子育て世代に
求められ
まち

317130
實現可變的
211122思112

目録) 成吉思汗の
7/26
とゾクズ

仁事終州ノハ
亦、ヒ - 心
機ノヒ成ルハDE
立止ルハ

通勤・通学
途中はフラフラ
病院へ行く
にフラフラと
学校帰りの
子どもたち

- ・高齢者を中心に
した経験や
知恵の共有
- ・外国人が自
文化をシェア

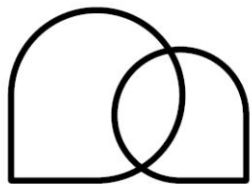
- 学生アクリエイト
- 実験地
- 農家の人
7/12 Made in Asagaya
- ためしてみたい人
"try"

参考：まちづくりの計画を踏まえた計画

- 地域の活性化、安全性の向上
- 道路の整備による人々の動員
- みどりの保全・創出
- 防災、安心、快適の拠点

用、SPA/SPAハレ原料等です。

● お願いしたい



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています

※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

① アイデア

すぎなみ森の美術館 — 未来を、街を、人をひらく

① 「森になっていく」美術館 — 体験型教育の場(=未来をひらく)

- ・杉一小の子どもが植樹する「クラスの木」が100年後に森になる。
- ・天井から自然光、窓からは豊かな緑がみえる構造、屋上緑地、アクアウォール(美術館外壁の風水=防災に利用可)

【森のシーン】

理科観察フィールドワーク、多世代市民のたまり場、街角ピアノ、
野外コンサート(※企画展とレストランのみ有料、その他は無料スペース)

② 「緑と文化の回廊」— 街をつなぐ回遊性(=街をひらく)

「緑と文化の回廊」による緑の面の創出と近隣店との連携、協働
→ 美術館の森(植樹)→ B街区南側の並木道→ B街区とC街区の道(植樹)
→ 神明宮→ 美術館の森

【回廊のシーン】

「回廊」を歩くことにより街を面として知り、近隣店利用(割引など)。

③ 参加体験型美術館 — 多世代、多様な人々の交流施設(=人をひらく)

バリアフリー、ベビーカーから車椅子までインクルーシブ、多世代・多様な人々が利用、
交流できる場。

【館内のシーン】

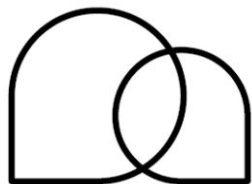
美術ワークショップ、作品模写、託児サービスデー、区内小学生招待デー、キッズコー
ナー、「誰でもCafé」(1階ピロティ)、産業商工会館1階「森のレストラン」(夜まで営業
する美術館アネックス)、ナイトミュージアム(美術館探検)コンサート in ミュージア
ム、プラネタリウム in ミュージアム、※企画運営に市民参加の仕組み

② アイデア

ふるさと「杉並」を知るための 博物館

杉並区には他所から移転してきた人が多く
住んでいるが、杉並で生まれ・育った子に
とって、杉並が「ふるさと」である。

そのような人たちに「ふるさと杉並」を知
るための博物館施設が必要と考える。既に
郷土博物館が存在しているが、交通の便が
悪く、気軽に立ち寄る場所にはなってい
ない。駅近くの便利な場所に、郷土資料館の
別室展示場のようなものを設けたい。「子
どもにとって、〇〇がふるさとになるか
ら、ふるさとを知るために来た」とは、或る
博物館に来館した親子連れの言葉です。



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

- ※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています
- ※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

③ アイデア (無題)

＊敷地の1/3～1/4程度は緑豊かな小公園
として残す。

神明宮・世尊院・河北病院と一体化し
た、阿佐ヶ谷駅から神明宮に至る
グリーンベルトを期待したい。

＊建物の一階と地階は、休日・夜間も
利用可能な常時賑わいを呼ぶ(商業)
施設が良い。

＊杉並図書館阿佐ヶ谷駅前分館新設。
児童書、阿佐ヶ谷にゆかりの深い作家
の作品充実。

＊小ホール。難聴者支援用無線設備も
備える。

＊区役所の支所、休日、夜間も稼働。

＊杉一(小)やその周辺の現場の見学は
実施すべきではありませんか？
そもそも自宅を建てるのに敷地を見な
いで建てる人は居ませんよね！！

④ アイデア

東側の通りを参道のように 並木道にする

阿佐谷神明宮へ来る人も増えているので、
駅から神明宮への道を参道のように歩道に
植栽する。

⑤ アイデア

快適に歩ける距離を伸ばす

街路樹(日陰づくり)や商店の存在などで。
快適に歩ける距離を伸ばす。
道を歩くすべての人

⑥ アイデア

各都道府県の木を植える:

移入者が多い。
移入者の話題になり、ふれあいの機会をつ
くる。外国からの移住者も居るので各国の
木も。

⑦ アイデア

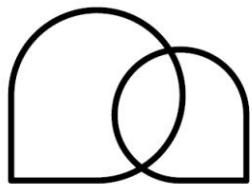
阿佐ヶ谷ビレッジ(仮)

〔テーマ〕→誰にとっても居心地の良い
コミュニティのような場所

- ・村民(あさがや人)もゲスト(来訪者)も
ゆったり過ごせる
- ・過去と未来をつなぐ阿佐ヶ谷の拠点。
- ・緑あふれる豊かな環境。

〔具体的なアイデア〕(こんなのがあったら
いいな!!)

- ・自然とパブリックアート(多様な植物、野
外彫刻、桜の園)
- ・歴史と文化の紹介(常設展示)
- ・ギャラリー(企画展、文化全般)
- ・イベント広場(村の広場的な位置付け、
ジャズ祭、盆踊り)
- ・なみすけカフェ・食堂
- ・なみすけ焼
- ・ミニ農園・ハーブ園(カフェや食堂で提供)
- ・事業相談コーナー(マッチング)
- ・多様な人が働ける場所(障害を持った人
やリタイアした人etc)



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

- ※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています
- ※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

⑧ アイデア

人が集まる広場をつくる

移動図書館や紙芝居、人形劇等のイベン
ト、キッチンカーが来られるスペースをつ
くり、自然と人が集まる場所にする。
ベンチ、緑のある居心地のよい場所。

⑨ アイデア

誰もが休憩できる場所

買い物などの途中で、座って一息入れる場
所があると良い。
また、河北病院が近いので、通院者の時間
待ちや見舞客の待ち合わせなどで気軽に
座って休憩できる場所があると良い。

⑩ アイデア

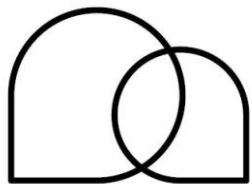
人々が集う「広場」

使い方が定められた「公園」は数多くある
が、さまざまな目的に使えて、人々が集え
る「広場」がほとんど存在しないように思
える。
固定された遊具などは要らない。
目的ごとに自由に使える、ただの広い場所
が欲しい。
日除けになる木が周囲に植わって居たり、
周囲にベンチが有る事は妨げではない。
阿佐ヶ谷駅南口も、植え込みなどが有り、
何か催しをするときの邪魔になっている。
建物の周囲に、何も無い、何でも出来る、
「広場」が有ると良いと考える。

⑪ アイデア

スタートアップのための 軽トラ市、キッチンカー村

ビジネスを始めるときに、いきなり店舗を
借りて始めるのは、費用負担などが大き
い。
物販や飲食の場合、移動販売やキッチン
カーなどで小さく始めることができる。
固定客が付いてある程度の売り上げが見込
める様になれば店舗を借て規模拡大を図
ることができる。
貸手側もこの場所で実績がある相手ならば
リスクが少ない。
高齢で店じまいした後、誰にも貸さずに
シャッターが閉まったままの店がある。そ
んな空き店舗とのマッチングを区や商工会
が行うことが出来れば街の新陳代謝も生ま
れる。



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

- ※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています
- ※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

⑫ アイデア

ふらっとホッと阿佐谷

ゆとりある空間・ゆるやかな交流

背景：学校という「学び」を象徴する場所の
跡地

「芸術」「文化」の香りのする街

周辺に施設は多いが「居場所」は少ない

再開発にあたり「樹々」が失われた

活用：緑に囲まれた低層建物の空間（校舎
再利用？）

目的を決めすぎない＝居場所

使い方は区民が関わりを通じて創っていく
（街を育てる）

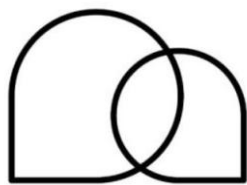
色々な使い方ができるように余白を残す

世代を超えた交流

様々な学び インドア/アウトドア、
昼間/夜間

⑬ アイデア

ドラえもんの空地



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています

※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

※模造紙に貼り切れなかったアイデアシート

⑭ アイデア 区役所建替え中の一時的移転場所

区役所東棟は昭和38年(1963年)建築で築60年を経過しており、建て替えが必要である。現在の場所で建替えを行う場合は、期間中の区役所機能の一時移転が必要となる。東棟は延床面積約1万1千平方メートルあり、一箇所ですりだけの床面積があるオフィスの確保は難しい。杉一小跡地に建設される建物は延床面積が約2万6千平方メートルあり、かつ、現区役所からも近く、一時的移転場所に適している。区役所建替え後は、本来の用途(何になるのかはこれから検討、であるが)に利用すればよい。

⑮ アイデア 災害時の帰宅困難者受け入れ施設

大規模災害時には多くの帰宅困難者が発生すると思われる。
阿佐ヶ谷周辺で勤務する人だけでなく、新宿方面から中央線沿線の自宅に帰ろうとする人も多いと思われる。
そのような帰宅困難者を一時的に受け入れる施設が必要と考える。
新しい杉一小は近隣住民の避難所に使われると思われるので、役割分担することで混乱を少なくする。
東日本大震災の時、豊洲の会社から杉並の自宅まで帰りました。道は多くの人で大混雑でした。車も渋滞してほとんど動かないような状態でした。

⑯ アイデア 災害時の臨時病院

隣に河北病院があるが、それでも大規模災害時には医療資源(医師、看護師などや病室)が不足すると思われる。
そのため、会議室などを臨時の病院として使えるような準備をしておく。具体的には、酸素用の配管、機器用の電源、ナースコール用の配線、河北病院の電子カルテに接続できるようなネット回線など。
開業医で家屋の損傷などで自宅医院での診療が困難な医師や看護師に来てもらう。また付近在住で遠方(千葉、神奈川、埼玉など)勤務の医療従事者に来てもらう。
事例として、中央区の聖路加病院では災害時に廊下を病室にできるように、配線配管などを設置していると聞いた。

⑰ アイデア 杉並税務署の移転

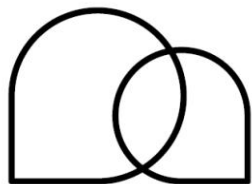
杉並税務署は交通の便が悪い。
駅に近い交通の便の良い場所に移転すると便利になる人が増えると思う。

⑱ アイデア 木登り施設

高齢男性は外出の機会が少なく、家に閉じこもりになりやすいと聞く。
そんな人たちが、孫と一緒に来ることができる場所を作ること、心身の健康増進に寄与できるのではないかと考えた。
もちろん、親が子と来ることの良いこと。
ハーネス(保護具)を付けて、安全に木登り(ツリークライミング)遊びが出来る施設とする。
木登りは子どもの体力向上にも役立つ。

⑲ アイデア 釣り堀

高齢男性は外出の機会が少なく、家に閉じこもりになりやすいと聞く。
そんな人たちが、孫と一緒に、または一人で、来ることができる場所を作ること、心身の健康増進に寄与できるのではないかと考えた。
また、釣り堀の水は大震災などの非常時の消火用水や雑用水に使うことができる。
幅4m×長さ5m×深さ2mで水40トンが蓄えられ、1分間500ℓの放水を同時に2本で40分間行うことができる。これは標準的な木造家屋の延焼防止に必要な水量とされている。
(4m×5mはほぼ6畳間2室の広さ)



グループワーク
模造紙の文字起こし

ホール展示室について
①実際の利用者の
ニーズはどの程度あ
るのか
②セシオン、広会堂、
座・高円寺、区民セン
ターとのすみわけは？

文化

にぎわい

自由な空間

⑦アイデア

⑧アイデア

区民(村民)と
ゲスト
若人から高齢者、
障害ある人…み
んなが訪れる

区民だけでも子
供も大人も

神明宮と西友の
間に建物と広場
建物は西友側に
スペースは広く
とる

①アイデア

②アイデア

自分自身
年離れた区民
小学生
子連れママ

③アイデア

⑨アイデア

⑩アイデア

⑪アイデア

区内外を問わず
どこから
でも目指してく
ることの
できる場所

ベビーから高齢
者まで出会い
・ベビーカーのお
母さん
・小学生(植樹)
・車椅子の人

緑をつくる
残す

この場所に来る
人に新しい人と
人のふれ合いが
生まれる場所

・杉一小生
・植樹
・理科観察
・美術ワークショップ
・学校帰りの遊び場
・コンサート
プラネタリウム
↓
他校生にも広げる

多世代と
出会う場と
なる

④アイデア

⑤アイデア

⑥アイデア

⑫アイデア

⑬アイデア

「50～100年後」
...子どもの意見
を聞く必要は？

建物をつくる整備す
る必要はあるの
か？"はらっぱ"で良
いのでは？(皆さん
の意見を聴いて考え
た。今にもぎわって
いる！)

誰？
主役：子供



班

グループワーク

活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

模造紙の写真

活用アイデアのイメージを膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が**50年後、100年後**どうなっていくのか考えよう

D 班

2025.10.26

にぎわい

自由空間

(アイディア)

とならない

- 敷地の 1/3~1/4 程度は緑豊かな小公園として残す。
- 神明宮・世尊寺・河北病院と一体化した、阿佐ヶ谷駅から神明宮に至るグリーンベルトを期待したい。
- 建物の一階と地階は、休日・夜間も利用可能な常時賑わいを呼ぶ（商業）施設が良い。
- 杉並図書館阿佐ヶ谷駅前分館設置。児童書、阿佐ヶ谷にゆかりの深い作家の作品充実
- 小ホール。難聴者支援用無線設備も備える。
- 区役所の庁舎 休日・夜間も稼働

(苦言)

*杉一(小)やその周辺の現場の見学は
せんか?そもそも自宅を建てるのに
は居ませんよね!!!

緑を
つくり
残す

自合自身
年是心已
小學生
子產山下

文化

求各真值
① 求各真值
② 求各真值

[illegible]

施設活用アイデアシート
アイディア:
ふるさと「杉並」を知るための博物館
アイディアを考えた理由や背景の説明など:
杉並区には他所から移住してきた人が多く住んでいて、杉並が「ふるさと」で育った子にとって、杉並が「ふるさと」である。
そのように人々の中に「ふるさと」である「杉並」を知るための博物館施設を考えた。
図に、郷土博物館が存在しているが、交通の便が良く、気軽に立ち寄る場所には、交差点の近くに、
駅近の「便利な場所に、郷土資料館の別室展示場」のようなものを設けたい。

「子ども」として、〇〇がふるさとになるからふるさとを「ふるさと」にしたい。来た」と、なる博物館に未来した親子連れの言葉です。

図説・ふるさとをめぐってのシンポジウム「ふるさと」の未来

区内外へ向かう
どろどろの道
朱と土の色
灰色

ハローから 城川
市会まで
ハローから城川
1. 学生 (学生)
2. 生徒の生

杉一ノ生

植木
理科観察
理科タケの
理科植物の
理科植物の
理科植物の

↓
理科植物の
理科植物の

↓
理科植物の
理科植物の

[illegible]

踏地活用アイデアシート（検討用）
 作成時期：ヒューマンズ2023年11月 作成場所：東京都中央区
 アイデア：休みの歩けり距離短縮（90分）
 アイデアを考えた理由や内容の抜粋など：
 街歩きや近所の移動（歩けり）
 休日に歩けり距離短縮を促す
 道と歩くすべてが人
 参考：まちづくり協議会による歩道利用促進のためのガイドライン
 ①歩道の整備、歩道の確保
 ②歩道の利用促進のための施策
 ③歩道の利用促進のための施策
 ④歩道の利用促進のための施策

跡地活用アイデアシート (検討用)
 所在地: 東京都中央区本町一丁目(仮称) 用途: 居住・商業・複合利用
 アイデア: 各都府県民の米を食えよう
 アイデアを考えよう裡面の内容の抜粋を下記:
 (輸入米) カル
 輸入米の増進により
 小売米の割合が増える
 (2) 国に3つの穀物税制も居るから
 米商にも

[illegible]

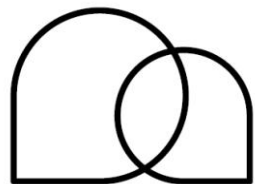
この場所には
新しい人々が
ふかふか
生きている場所

誰？：子洪

ドラエもんのお宝

50-10042

・運動をつくる。準備が
必要なのか？
「はーば」で良いのか？
(答へた奥の壁、いまだある)
命は、生かすこと！

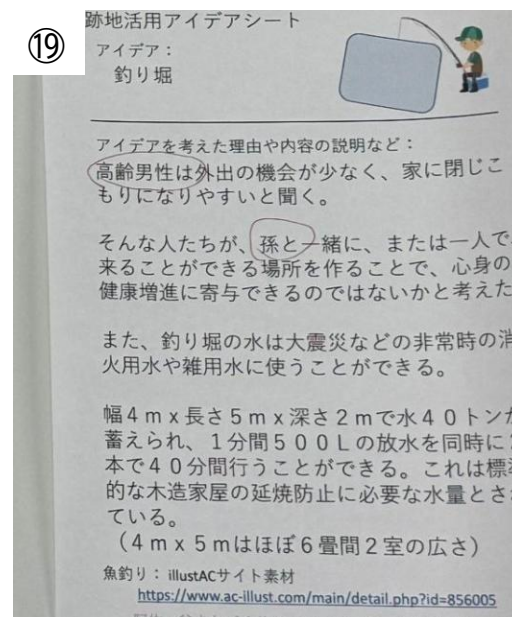
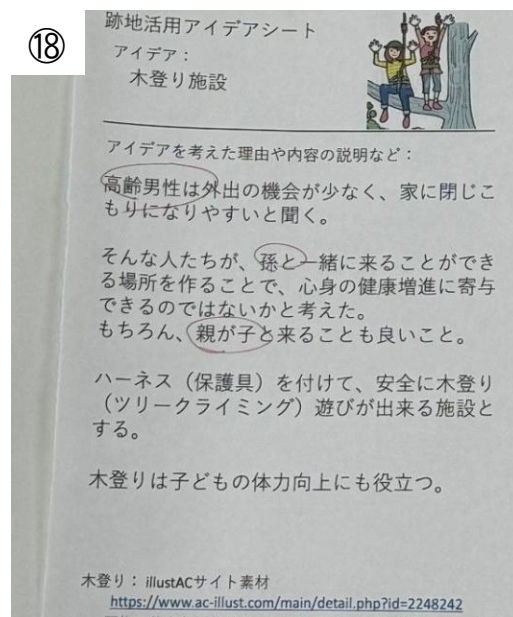
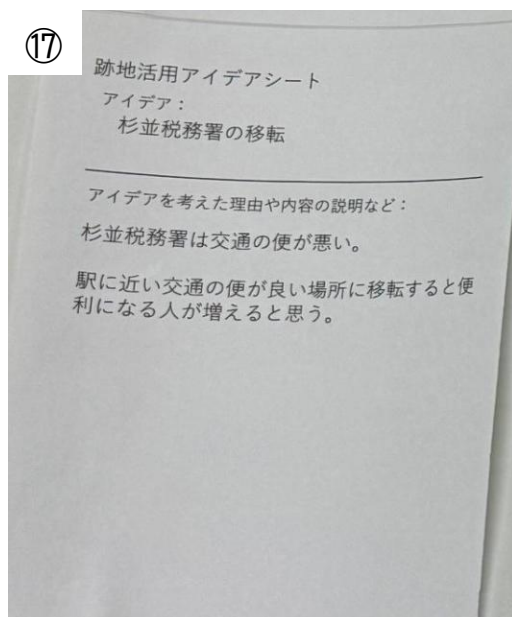
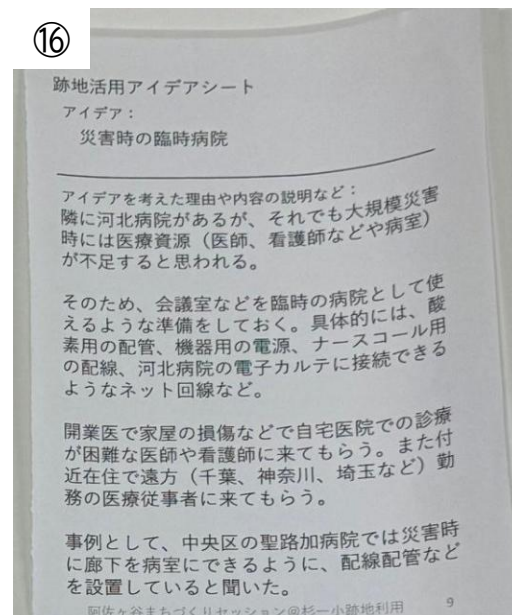
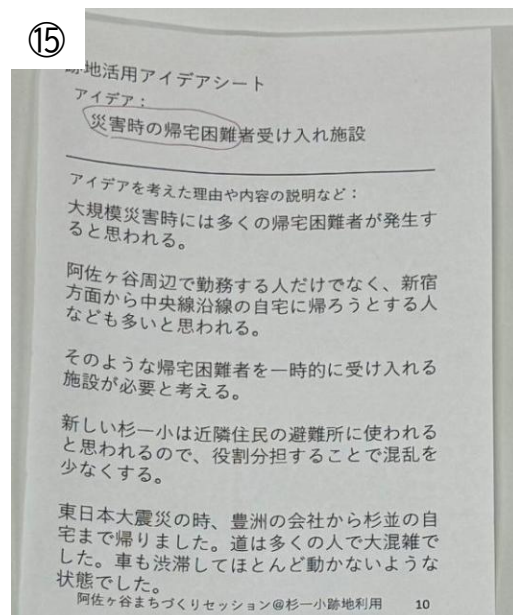
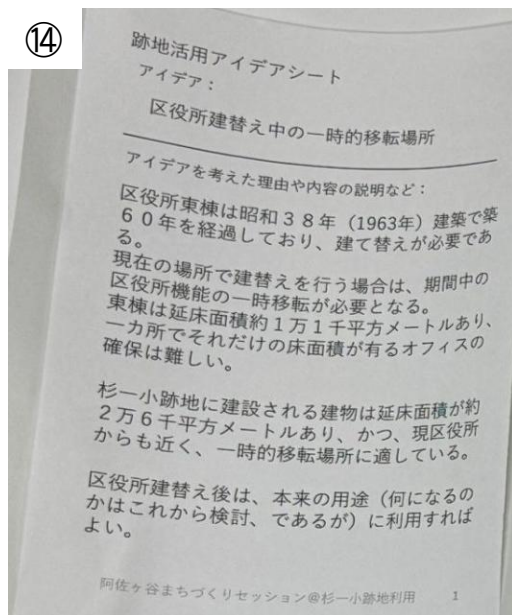


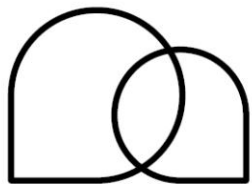
グループワーク 活動アイデアのイメージを 膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

模造紙の写真

※模造紙に貼り切れなかったアイデアシート





グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています

※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

① アイデア

既存の校舎と校庭を そのまま活かした拠点

今あるものをそのまま活かしながら、
地域の人々が「働き、集い、学び、遊べる」複
合的な場として再生する。

この場所には、大手企業の進出ではなく、
地元企業や個人商店など、地域に根ざした
営みを集めたいと考えています。

また、広い校庭を活かし、「緑豊かな風景」
を取り戻すことも同時に進めたい。

地域の人々のための「みんなの家」「みんな
の庭」として、小学校が担ってきた「人が育
つ場」を同じ場所でもう一度スタートす
る。

② アイデア

ペットも家族も みんなで過ごせる広場

・あさがや(杉並区)にはペット(犬等)入場
可能な公園が少ない

・災害発生時は、集まる広場として活用可
能な公園が欲しい

・駅前という立地を活用し、カフェ・飲食店
も入れて集客

→ あさがやの街の活性化に。

③ アイデア

(無題)

①

・気温1℃上昇で雨量風強くなる為この地
域は下水処理インフラ不可欠

・鳥達の住み家を戻すべく失った100年の
樹木をここから復活する

↓↓

森の中に建物が点在する感じに

②

ホールは音響等音楽のみならず、廊下や小
室に美術品等展示

③

地域の人々や訪れた人々が癒される場に

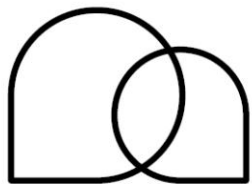
④ アイデア

(無題)

防災を第一に

・みどり(こだち)

・文化



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています

※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

⑤ アイデア

森の中の街のような美術館

誰でも歩ける 誰でも居られる
森の中の街

街：目的（＊）があっても目的がなくても来
られる／目的以外のものやことに出会う
＊産業商工会館、美術館 商業施設（西友？
など）飲食店 森 展望台 ロビー

森：景色をつくる 景色を増やす 百年先に
残す
居場所をつくる 集客装置としての森
道路ではない道（歩車分離、安全安心）
心と身体 の健康

街のような美術館

展示室だけでなく、いろいろなところにあ
るアート アートがはみ出す
展示室が分散していればなお良い
アートでないものがアートに見えたりする
教育普及研究 → ラボの公開
作家による阿佐ヶ谷の新しい魅力の発見

⑥ アイデア

区立美術館の建設

NPO法人東京を描く市民の会として2006年から年1回、杉並区内の写生会実施後、「杉並
の残したい風景展」を区の施設をお借りして展示させて頂いて来ました。
近年、展示場所は杉並区区民ギャラリーで定着しております

理由1：

区民ギャラリーは区役所内2F廻廊で通路です。
使用時は通行の妨げにならないことが第一条件で講師による作品の講評会などの時は必
ずクレームが来ます。
駅近で集客が容易の好条件の区民ギャラリーでこの状況は寂しい限りです。
理想的区民ギャラリーを希望します。

理由2：

杉並区の施設に散在している美術作品を将来の文化遺産とすべく空調の整った場所に
集めて一般に常設展として観賞できるようにすることがだいじだと思います。余りに粗末
な扱いになっています

内容の説明

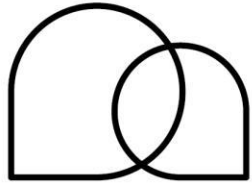
区民美術館はそれ自体で運営採算が取れる様にすべきで

①大きな企画展のできる部屋（入場料収入が得られる）

②区民が使えるギャラリー（安価な使用料）

③常設展のギャラリー（安価な入場料）

3つの構成にするのが良いと思います。



グループワーク
活動アイデアのイメージを
膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

参加者の ご意見

- ※ 各班で貼られた跡地活用
アイデアシートを文字化
しています
- ※ 個人名などが特定できない
ように文章の調整を行って
いる箇所があります

リノベ

フレキシブルに
使う

参考)
中野セントラル
パーク
池尻中学校
リノベ

① アイデア

どんな人→
・だれでも
・近所の人
・子ども
・ペット
・鳥

・休憩
・食事
・仕事
・勉強
・交流

阿佐ヶ谷住民
その他の地域
から訪れる
様々な人

飲食を楽しむ

⑤ アイデア

・森と生きるライ
フサイクル
↓
50年とか

自分たちのまち。
スペース、場所
(自分ごと)

サステナブル

② アイデア

阿佐ヶ谷の
イベントを
行う

ゆったり
安らげる

何もしない人が
いる

何かと出会う人
がいる

何かを見つける
人がいる

森を守って
ゆく人がいる

共通

地方
外の人

子どもファミリー
→つながって
いける

新しく流入
する住民に
アピールできる
まち

商店街に
活気のある
まち

③ アイデア

ホールに好きな
演奏を
聴く
遠方からでも

森の中を地域の方
や遠方より
目的もなくゆっ
たり時を過ごす
→ついでに
カフェやお食事

東京都内だけで
なく地方からも
集まって来て楽
しめる場所

⑥ アイデア

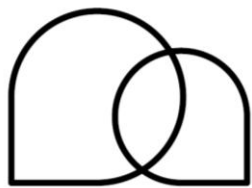
④ アイデア

防災
イベントの場

地域の人が
日ごろ
いこいの場所
(平時)

イベント開催
(人が集まる)

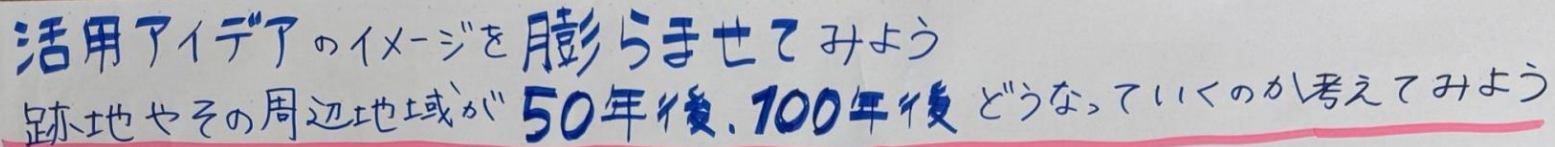
地域の人が
有事の際に利用
する(防災)



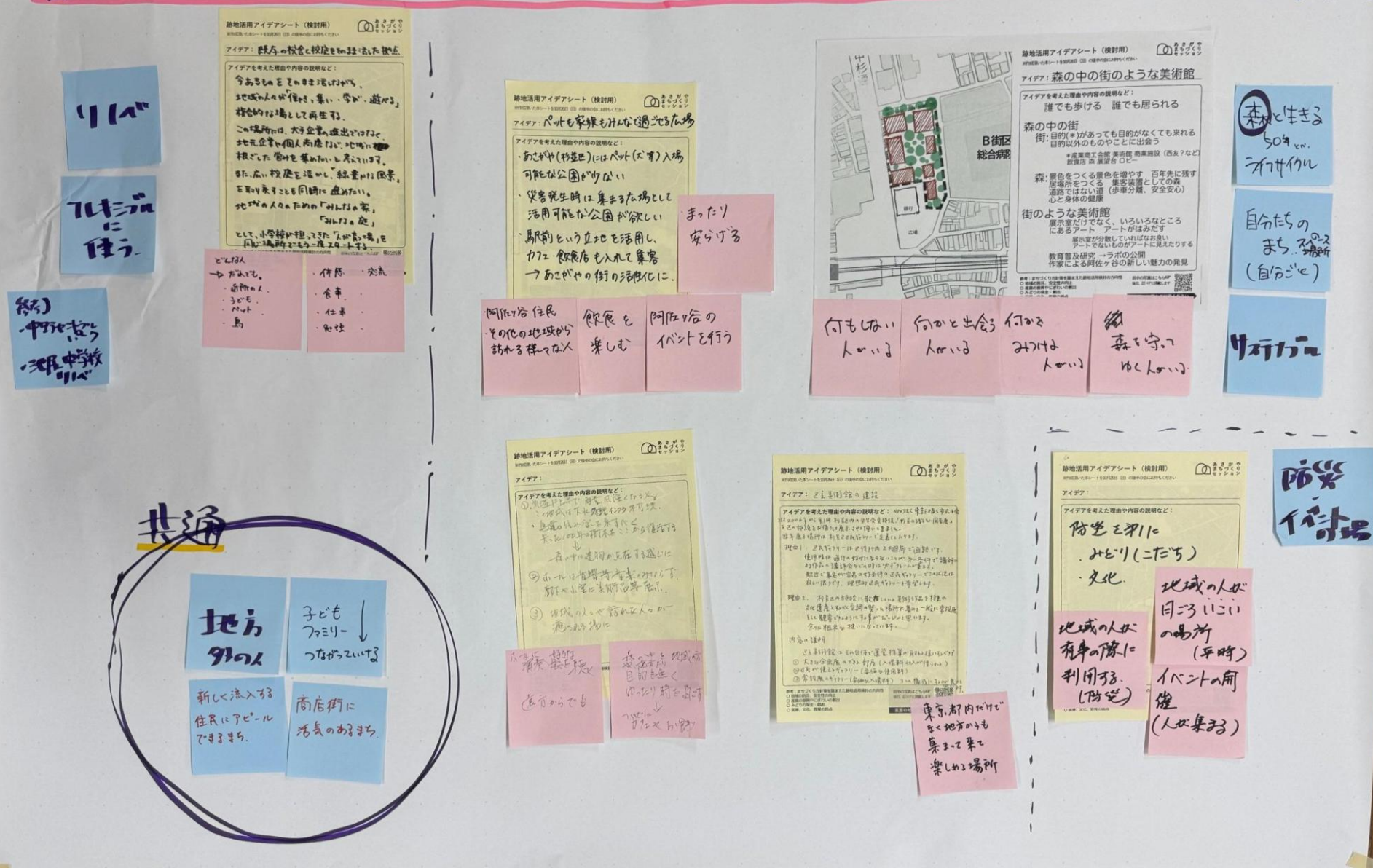
グループワーク 活動アイデアのイメージを 膨らませてみよう

跡地やその周辺地域が50年後、
100年後どうなっていくのかを
考えてみよう

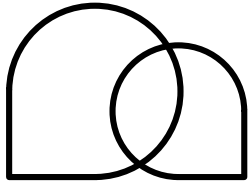
模造紙の写真



E 班
2025.10.26





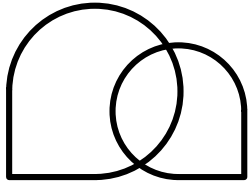


A班

発表内容

A班は「絆のまち 阿佐谷」を合言葉に、①防災、②多目的な場づくりの二本柱でアイデアを共有しました。防災では、「ここに来れば一安心」と感じられる日常拠点づくりを重視し、平時は憩い・学びの場、非常時は機能する防災公園やイベント広場、緑と一体化したスペースの整備、子どもへの防災教育の場づくりを挙げました。多目的面では、誰でもいつでも集えるコミュニティ拠点をめざし、阿佐谷の象徴となるビルの構想（最上階にレストラン）やシンボルタワー、運動施設、地域の魅力を再発見できる展示・情報発信の仕掛けを提案しました。あわせて、児童館の先を担う10代のために、「ユース杉並」に続く居場所を設け、世代間が自然に交わり循環する場にしたいという声が上がりました。



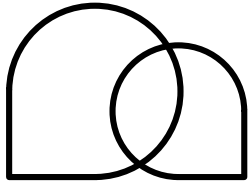


B 班

発表内容

B班は、まちの将来像として「安心して暮らせる」「癒し・憩い」「交流と賑わいで文化を育てる」を柱に、誰も取り残さない包摂的な場づくりを目指すアイデアを出しました。まず、建物以前に周辺環境を整える観点から、駅前の歩行空間や動線を安全にし、事故の起きにくい道路計画が必要だとしました。施設面では、美術館・図書館に加え、スタジオや子どもの広場などを複合配置し、多目的に使えるホールを設けて学校行事やコンクール等にも活用できる場を想定しました。建物には展望スペースを、前面には子どもの広場や癒しの広場を設ける案も示されました。加えて、障害の有無や世代、孤独・孤立にある人も含め誰もが自然に集い過ごせる設計とし、防災・防犯の拠点性を高めること、交番がない北口側の治安改善を図ることが望ましいとまとめました。

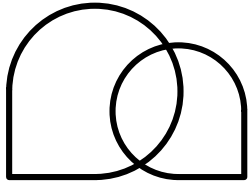




発表内容

C班は、50年後・100年後を見据え、「新陳代謝や川の流れのように人が入れ替わりつつ、時代を超えて愛され続ける場所」を目標に据えました。施設は固定せず、対話を重ねながら柔軟にリノベーションできる“余白”を持たせたいとしました。誰もがふらりと立ち寄れることを前提に、子育てや鍵っ子の安心の場、高齢者が教え合い・学び合える仕組みを想定しました。加えて、実験的なポップアップやカフェ・スイーツなど挑戦を試せる場のアイデアも出ました。防災は人のつながり（ソフト）と設備（ハード）の両面で組み込み、図書やアニメーション資料など老朽化した資産の継承・移設も視野に、流動性の高い拠点像を描きました。



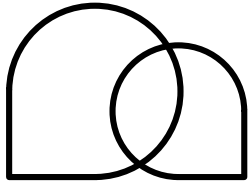


D班

発表内容

D班は、将来像のキーワードを「緑」「自由な空間（広場）」「文化」「賑わい」の四つに整理して共有しました。まず「緑」は神明宮へ続く参道のイメージや街路樹の回遊性、敷地そのものの緑量など捉え方が多様で、重要性では一致しました。「自由な空間」は“公園”より可変性の高い“広場”を意図し、キッチンカーや移動図書館など多目的に使い、人と人が自然に触れ合う場を想定しました。「文化」は美術館の新設に固執せず、阿佐谷らしい文化や美術を感じ取れる体験・空間のあり方を重視しました。「賑わい」は近隣住民の身近な賑わいと、外から人を呼ぶ広域的賑わいの双方を視野に入れ、どちらにも開かれた多様な解釈があり得ると整理しました。



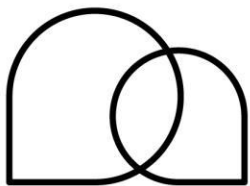


E 班

発表内容

E班は、跡地の中心に「森」を据え、人が集い憩える場にするアイデアを共有しました。ペットと過ごせるエリアや、音響に配慮したホールを設けて阿佐谷ジャズストリート等の音楽鑑賞を可能にし、区内に点在する美術を集めて鑑賞できる仕組みも挙げました。多様な人が交流できることを前提に、当面は小学校施設をリノベーションして柔軟に活用し、将来の整備までの“つなぎ”とする案も示しました。防災については、平時は森や広場を憩い・イベントの場として用い、非常時は防災拠点として機能させる二重利用を想定しました。さらに、50～100年先を見据え、区内外から人を呼び込み阿佐谷の魅力を広く伝えることで、商店街の活気づけにもつながる場づくりを目指すとししました。





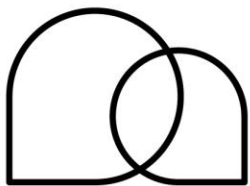
矢口哲也教授のまとめ



矢口氏

この場が区長の「透明性を持って意見を集める」意思のもと、こういう場がきちんと機能してるっていうのが、今日すごく良かったと思います。話し合うこと自体がプロジェクトを動かす原動力であり、そのベーシックがしっかり実践されていました。次に、50年・100年先を見通すという難題に対し、皆さんが時間軸・空間軸を行き来しながら発想を広げていたことも印象的でした。私は日頃、都市デザインを専門としていますが、敷地と街、歴史と未来、「虫の目」と「鳥の目」を往復しながら案を練ります。今日の発表にはその姿勢が自然に体現されていたと感じます。

ここからは三点で整理します。第一に「ベースライン」です。何を計画するにせよ、防災は不可欠だと私は捉えました。平時と発災時を裏表で考え、ホールや産業支援など他用途と重ね合わせて機能する設計が望ましいでしょう。併せて、子ども・高齢者・障がいの有無・国籍を問わず「みんな」が使えるインクルーシブな計画であることも共通の前提だと受け止めています。



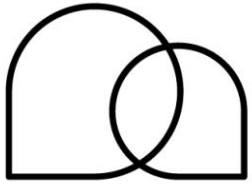
矢口哲也教授のまとめ



矢口氏

第二に、具体案の読み解きです。駅前という立地は「目的地性」を帯びます。形態でも運用でもランドマーク性を持たせる視点が要る一方で、「図書館」「美術館」といった既存の型に縛られず、ものづくり・学び・交流が横断するハイブリッドな場を目指す可能性が見えました。また、区内の既存施設とネットワークで補完し合う発想が重要で、ここだけが突出するのではなく、面として価値を高める配置が有効だと考えます。

第三に、今後の進め方です。用途を二者択一で決めるより、「ここでどんな活動が起き、どんなシーンが日常化するか」を具体的に描写してください。そのうえで「阿佐谷だからこそ」「ここにしかない」オーセンティシティ＝場所らしさを核に据えることが要諦です。皆さんの発表には既にその芽が宿っています。今後の方向性で検討を深めていくことが必要だと思います。



開催後のアンケート 前半

Q1

あさがやまちづくりセッション第8回【前半】について、
ご意見やご感想があれば、ご自由にお書きください。

(本日のワークショップで良かった点・伝えられなかったこと・感想や質問など)

- 阿佐ヶ谷駅前にも子ども子育てプラザが欲しい(杉一小学校跡地でも阿佐ヶ谷児童館の変更でもかまいません 成田西のプラザまで遠い)杉並教職員組合の移転先にして欲しい 維持管理費が掛かるが小学校跡地までアーケードがあると阿佐ヶ谷駅南側と一体感が生まれるのでは 施設の駐輪場の使い方の確認 今までにない施設(何か一つ秀でた尖った)をつくり街の賑わいを出したい いつもながら区の職員の頑張りに感謝してます区民の色々な意見集約するのは大変だとは思いますが早くたたき台をつくり又意見交換会等を行い更により良い素案づくりが出来るとより良いですね 以上
- ・少ししゃべりすぎた自分への反省としてでもありますが、ひとりの方の意見を深掘りするよりも、その意見に対する他のメンバーの考えや、もっと異なる意見がたくさん出るよう、モノログでなく対話になるよう進行していただければと思います。
・杉並区はみどりの基本計画で屋敷林の保全、グリーンインフラの推進を謳っているはずですが、けやき屋敷のみどりが失われたことについては、あまり問題視されず、むしろ当然のことのようにあつかわれているのは、縦割りとはいえ、区の施策として整合性に欠けていると感じました
・同時に進んでいる検討調査業務委託の現状の内容を知ることはできないでしょうか？(資料配布程度で可)
- 阿佐ヶ谷について、日頃思っていることを話す場があって良かったです。考えるきっかけになりました。また、色々な年代の方が参加しているので、色々な視点でお話を聞いたのも良かったです。是非続けていただきたいです。

- 環境問題に適応した緑のある公園機能が必要 障害のある方も楽しむ事の出来る施設をつくりたい 多国籍の人も楽しむ事の出来る施設をつくりたい 阿佐ヶ谷らしさは人それぞれ違うと思う(例えば阿佐ヶ谷はジャズの街なのか)阿佐ヶ谷七夕まつりに活用出来る施設に ネーミングライツが取得出来るような施設に けやきプールが無くなり杉一小学校の温水プール化も出来ずに代替案が夏休み短期間の阿佐ヶ谷中学校及び馬橋小学校のプール開放だが区の認識を再度確認したい 図書館7地域14館構想の考えは変わっていないのか確認したい 以前あった阿佐ヶ谷区民センターの図書コーナーは利用者が減少した為廃止になった認識だが間違いないか又再開する考えはないのか確認したい 以前の計画では杉一小学校跡地の活用の中に杉並会館(杉並アニメーションミュージアム含む)の移転も優先順位が高かったと認識しているが現状の区の認識を確認したい 以前あった中高生の新たな居場所づくりに関する基本的な考え方や杉並子どもの居場所づくり基本方針を踏まえた施設をつくりたい(談話室 図書室 スポーツスペース パソコン学習室 音楽スタジオ その他)最近の子どもにあわせた携帯ゲームの出来るスペースが必要 駅前なので屋外でもスノーボーが出来たら嬉しい 和田堀公園プールの現地建て替えは難しいとの認識だが現状移転先のめどはついているのかそれとも以前あった屋外2プールの様に廃止にする予定なのか確認したい 7行政地域や小中学校区にとらわれない地域バランスや全体最適を考えた施設を検討してほしい(阿佐ヶ谷図書館移転により東原中学校区に児童館が出来る 杉並会館移転により関根文化公園一部閉鎖の代替地になる 難しいが杉並税務署移転により東田中学校区に児童館が出来る その他)
- ・昨年度から跡地活用の検討が始まっていてゴールが2030年度以降になる予定というスケジュールを初めて理解しました。
・すでに区が跡地活用検討の4つの方向性を設定していることを知りました。私の意見は変わりませんが、多くの参加者のアイデアがこの方向性に影響されたように感じました。
・区の土地所有割合が3割弱で他の地権者が7割であることにこだわりを持った参加者が多いような雰囲気でした。私は「私たちが話し合うのは跡地活用のコンセプトで、それを各地権者(民間企業など)が自分たちの最適な方法で具体化すれば良い」と考えています。そうした前提で私のアイデアを提案しようと思います。
・運営としてグループにファシリテーターが付いていただきましたが、とても話し易い方々だったので良かったと感じました。ありがとうございました。

- ワークショップの雰囲気がとても良く意見が言いやすかった 駅前やイベント時にオープンハウスを行いワークショップ参加者以外の多くの声を聞いてもらいたい グループ進行役と区との関係に多少の違和感を感じた(利害関係)阿佐ヶ谷の地域を第一に考えるの一番大事だが駅前大規模な跡地活用なので地域にとらわれない活用方法も考えるべきではグループ成果の付箋がそのままホームページにのってしまい個人が特定されてしまい嫌だった ワークショップに地権者の参加は求めないのか 借地権に関する説明があると理解が深まる 建物はすべて区が負担する考えなのか 区民センターやコミュニティフラットとの機能の差別化が必要かも 産業商工会館や学童クラブ移転時の跡地活用も一緒に考えるべきではないのか 杉一小学校との防災機能の差別化(震災救済所 在宅避難)区立施設の老朽化に対する移転先や機能統合を図り代替施設を建設しない移転元の土地の有効活用を考えるべきでは(本庁舎東棟 男女平等推進センター 産業振興センター 杉並会館 防災住宅 その他賃貸物件等)限られた財源での施設整備(和田堀公園プールの移転先としてプール建設 郷土博物館別館や杉並アニメーションミュージアムの移転先として大規模な博物館 阿佐ヶ谷図書館やコミュニティフラットの移転先として大規模な文化施設 阿佐ヶ谷児童館の移転先として大規模な中高生機能優先児童館の建設)区民ニーズの変化に対応する施設(体育館 スポーツジム 美術館 屋内プール 屋内ドックラン 屋内アバンスポート 屋内遊技場 その他)児童館にこだわらない小学校高学年から大人まで使える施設(ゆう杉並のような建物 武蔵野プレイス武蔵野市 ふれあいの家中野区 代官山 ティーンズクリエイティブ渋谷区 家族のアトリエ渋谷区 その他)乳児と幼児がわかれてボール遊びの出来る屋内施設 年齢制限ありで構わないので電動麻雀卓のある施設 図書館移設が無理でも高井戸区民センターのように図書コーナーを 阿佐ヶ谷区民センターのようにドリンクバーが欲しい 阿佐ヶ谷地域にもう一つ図書館をつくることは可能ですか(高円寺地域には一つしかない)どのような美術館をつくりたいか人によって違うと思うので要検討(収蔵庫のありなし 規模感 展示品 かかる費用 その他)
- グループ内で聞きあうことができたと思います。思い切って言ってしまうと発言された方がいらして、思い切って言えたこと、それをみんなで受け止められた雰囲気はよかったです。もう少し今までの会でのご意見を聞けたらと思いました。阿佐ヶ谷らしさとは何か、それを活かしていくのか、違う観点を作っていくのか、そんな話からできたら良かったかなと思いました。阿佐ヶ谷に長く住んでいる人、戻ってきた人、阿佐ヶ谷以外の地域の人などがいたので、それぞれの阿佐ヶ谷を語れたら良かったかなと思いました。

- ・良かった点
事前に資料が郵送され、要点を予習できたため、最初から意見を活発に出せた点は良かった。
・当日出せなかった追加意見
J R 阿佐ヶ谷駅前の交通至便な区民が集まりやすい場所にあるため、全区的な視点に立って不足する機能をこの跡地に入れることも考えた方がよいのではないか。
・感想等
私はたまたま、みどりやグリーンインフラの取組に関わっているため、みどり施策における跡地の位置づけのようなものは理解していたが、区にはこれ以外にも様々な分野の施策があり、それぞれの分野からこの跡地に求める機能があると思う。区の基本的な施策に関する知識・情報は跡地活用の議論の基礎情報としてあった方がよいのではないか。
- 区からの説明を2つに分けていたが、分ける必要があったのかよく分からなかった。(地権者との関係や、考えていい敷地面積が分かりづらかったため)
良かった点は、他の区民について知ることができたことです。割り当てられた班のメンバーがそれぞれ自分のできることを最大限考えており、また互いを尊重し合ってる姿がとても良かったです。
どんな区民でも参加できるように、子供がいる人には託児ができるようにサポートして下さったことが素晴らしい配慮だと思いました。ただ、外国人や障害者等はいなかったのも、そういった区民もいても良かったのかなと思います。
- ・今まで概要しか知らなかった阿佐ヶ谷駅北東地区の現状について、具体的な詳細を知ることができて大変有意義でした。
・杉並区民としてまちづくりに具体的にコミットできることと未知の区民の方と知り合う機会を大変楽しく感じました。
・特に阿佐ヶ谷近隣在住者の、街に対する熱い思いが伝わってきました。
・年齢性別を超えた多様な集団でひとつの目的に向かって意見を交わすことの面白さを味わう事ができました。
・公募ワークショップとしてはもちろん限界があると思いますが、改めて、本当に議論を深めるには本来は時間も期間も必要なテーマなのだと思います。

- ①様々な意見、考えが聞けて良かった。
- ②区画整理の仕組を分かりやすく杉並区から説明があった方がよかった。事業のお陰で杉一移転の後も30%使えるのだから、有利な土地利用だということ。
- ③町会活動もしているが、敢えて個人として参加したつもり。が、つい町全体の視点で考える。跡地単体での話しにするには矮小に過ぎるじゃないか！と思ってしまう。だから、自分の意見は多少乖離していたかもしれない。「緑が失くなるから、跡地にみどりを」。それって、阿佐谷全体に言えることだ。責任はじぶんたちにもある。だから、周辺も含めて考えよう、という意見は果たして分かってくれたか？
- ④一晩(たっぷり寝て)、自分なりにダイナミックな意見提案をかんがえた。10月26日要の提案書に記す。
- ⑤自分のグループだけでなく、他のグループの方の意見発表も大いに参考になった。
- ⑥矢口先生の締めめの講評は、流石に的を射ている。

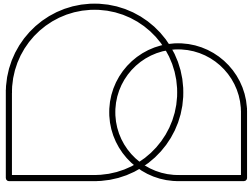
- 楽しく参加させていただきました。
全体として「新しく象徴的なものをつくっていく」という方向性が強く感じられましたが、この縮小時代に本当にそのようなシンボリックなものが必要なのか、少し疑問に思いました。
ワークショップの場では、皆さんがお金を負担するわけではないこともあり、無責任に大きな構想が語られがちです。もう少し落ち着いて現実的に実現可能な案についても議論できたら、より意味のある場になったのではないかと感じます。
仮に今回多くの方が挙げられていた美術館の建設に進んだ場合、近隣住民からの反対は少なからず予想されます。東京には30分～1時間移動すれば数多くの美術館があり、阿佐ヶ谷に暮らす人々にとって必ずしも必要性が高いとは言えないからです。
また、外から人を呼び込むことの是非についても考える必要があると思います。例えば高円寺の駅前開発では、賑わいを生み出しているのは一時的に訪れる人々であり、暮らす人々の居場所にはなっていません。(もちろん、経済的な観点から外部の来訪者が重要であることも承知しております。)
これらのことから、まずは阿佐ヶ谷に住む人々の【日常生活】を豊かにすることを第一に考えるべきではないかと感じました。
物価高騰のいま、大きな予算を投じて新しい建物をつくるのが本当に最適解なのかという疑問もあります。既存の施設を活かし、少し手を加えるだけでも十分に魅力ある場所はつくれるはずです。

例えば、校庭や体育館といった広い空間は災害拠点としても活用できますし、校舎についても池尻の「HOME/WORK VILLAGE」のように利活用する道もあります。スクラップ・アンド・ビルド一辺倒ではない、多様な選択肢を模索していけるのではないのでしょうか。

- 主催の皆さまお疲れさまでした。
参加者の皆さんの様々な視点と、阿佐ヶ谷への想いが知れて良い時間でした。強いて言うならば、杉一を大切に思っている人たちの話を事前に聞けると話し合いで新たなアイディアがでることもあったかなと思います。
終わる頃に話し合いが活性化してきたので次回は最初からもう少しほぐれて話し合いができると嬉しいなと思っております。
- たまたま配属されたグループが女性メンバーの数が多く、男性の私では気付かぬきめ細かい視点からの指摘もあって、面白いワークショップでした。
跡地活用に際して、矢口先生が最後の講評で指摘されたように、緑や文化に関連する意見が多かったという印象を持ちました。
- 区の方の説明が分かりやすかったです。
ただ第一小学校は今、外からよく見えないので敷地内の写真などスライドで見られるとなお良かったです。
2回セットのセッションなので、今回はどこまで具体的な意見や希望を言って良いのか迷いました。
第一小跡地だけではなく、阿佐ヶ谷全体の計画の一つとして話したいという意見が印象的で、同じように感じました。
自己紹介や発言をする一人当たりの時間が短く、時間だけが気になり、焦ってうまく話せなかったのが心残りです。
- 色んな人の意見が聞けて良かったと思います。立場や年齢の違う人が話していると様々な意見が出る一方で、防災や芸術などにテーマが偏っていた点が印象的でした。個人的には、子どもから大人まで、どんな人もどんな時にも立ち寄りたくなる憩いの場になればと思います。また、施設を建築する際に高さの上限がある反面、地下の利用などについてはどうなっているのか知りたいと思いました。

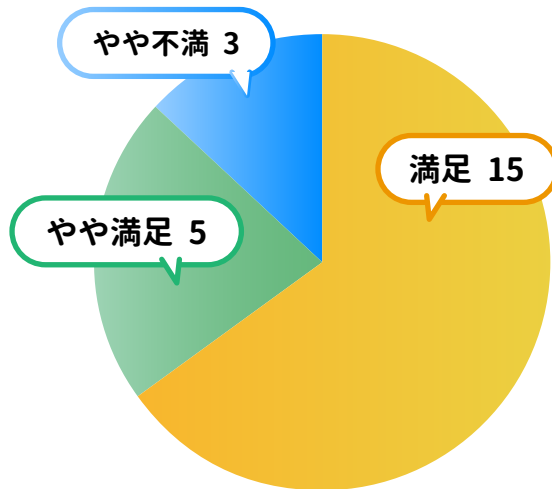
- ・多様な意見に可能性を感じました。
よりよいまちづくりができる気がしています。
・1グループ6人は多いと思いました。
一人ひとりの意見を聞ききれていない。ディスカッション(対話)がもう少しできた気がします。
- 自分と違う視点の意見を知ることが出来たことはとても有益でした。
時間も適切な長さと思います。
駅に近く交通便利で、これほど広い土地が出ることはとても貴重な機会なので、区民の意見を取り上げるこのような機会を催した事は、とても有難い。
- 知らなかったことがとっても多くて大変勉強になりました。
大好きな阿佐ヶ谷の魅力が詰まった施設ができることを期待しています。
- ・いろんな方の意見が聞けて、今後の計画がより楽しみになりました。
・今回のWSでの意見が、どのように計画や事業に反映されるのか、知りたく思っています。

※主な意見を掲載しています。
また、個人名が特定できないように文章の調整を行っている箇所があります。



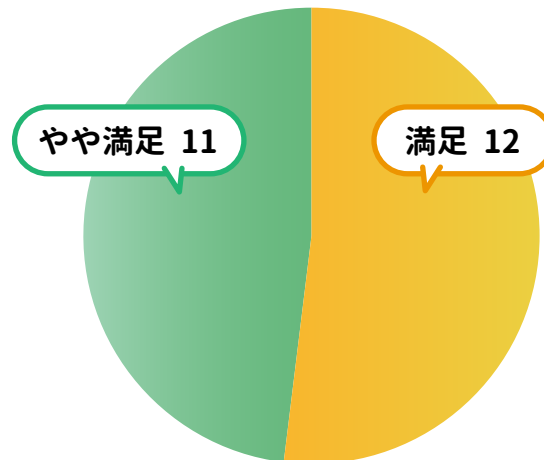
開催後のアンケート 後半

Q1 グループワークについて



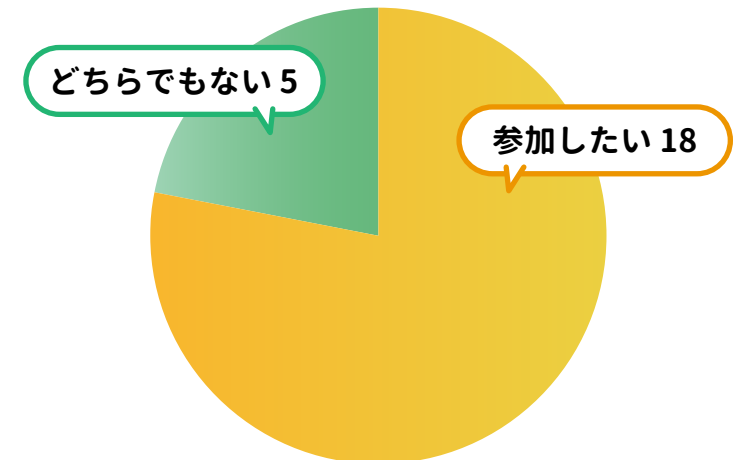
- 満足
- やや満足
- やや不満
- 不満

Q2 全体を通して、どの程度満足いただけましたでしょうか。

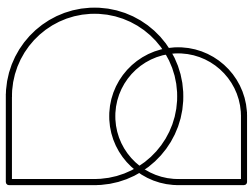


- 満足
- やや満足
- やや不満
- 不満

Q3 今後開催予定の、あさがやまちづくりセッションに参加したいと思いますか。



- 参加したい
- どちらでもない
- 参加したくない



開催後のアンケート 後半

Q4

あさがやまちづくりセッションについて、
ご意見やご感想があれば、ご自由にお書きください。
(上記の回答の理由・今回の感想・今後の提案など)

- 阿佐ヶ谷駅近くの土地に、そもそも何を建てるのか、あるいは建てないのか、というスタート地点にかかわることができたのは大変貴重な機会であり、いろいろなことを考えるきっかけになりました。おそらく、今回のような議論は阿佐ヶ谷だけではなく、都心部を除く23区に共通する課題のはずなので、これからも考え続けていきたいと思ひますし、区としても広く続けていってほしいと思ひます。
● 今回のワークショップでは、本来必要なあるべきものが無いのでそれが欲しい、というような声はあまり聞かれず、むしろ必要なものだけでは足りない、たとえば居場所ややすらぎ、阿佐ヶ谷をさらにより良くすることなど、あえて言えば不要不急のなものかを求める声が多かった印象があります。
● そういうものを、行政が整備することにはおそらく議論や異論も出てくるのかもしれませんが。と言って、経済や資本の論理では到底実現しないものでもあります。ただ、今回、地権者様のご理解によって実現が可能になれば、貴重な事例になるのでは、という期待もあります。
● 最後の各班の報告では、すべての班の議論レベルの高さ、深さが見事でした。利益誘導のまったく無い客観性も清々しかった。阿佐ヶ谷周辺住民の意識の高さがうかがえます。
● 杉並区は、優秀で意欲のある区民の活用をもっと考えても良いのではないのでしょうか。
- 【地権者 その他】について 河北病院跡地の残土処理問題(議会傍聴)で考えにそこがある事が改めて分かりましたが杉並第一小学校跡地の活用に関しては地権者との間に活用方法に関しての協定書等を改めて締結して欲しい 地権者の7割の土地の活用に関しては地権者の思ひ(本音)にも充分に寄り添って下さい 地権者が望むならタワーマンション建設や商業施設の誘致も検討する必要があると思ひます(地権者の生活も大事)

- 区長が各グループの中に入り、グループトークを直接聞いてくれることは、他の自治体首長ではほとんどなく、大変よかったと思ひます。
● 今回、申込者が定員を超えて抽選したとの話があったが、今後開催されるセッションでは申込者全員が参加できるように会場やファシリテーターを増やして対応してほしい。
- おもちゃ図書館 杉並区にはおもちゃ図書館がない(子ども子育てプラザは多数あり)ので施設して検討をお願いします 障害を持った乳幼児の遊び場親同士の情報交換の場所として必要だと思ひます オープンスペースの貸出 オープンスペースの一部を一定期間区民に有料貸し出しを行ない(イメージ的には西荻窪のことカフェ)区民参加型の交流の場所にしたいと思ひます(スタートアップ事業)子ども食堂 基本的に調理室はいらないと思ひます(子ども食堂は持込対応)現状区民センター等の調理室利用数は少ないと思ひますので子ども食堂の為に調理室を設ける必要性を感じない(行政は子ども食堂がなくても良い施策を)観光案内所 産業振興センターが移転するなら必ず必要だと思ひます 杉並区の魅力が区外の方々(区民にも)充分伝わってないと思ひます 地域の力(民間企業 地域ボランティア 等)を借りて区内の施設 グルメ 文化 等の情報発信力の向上に努めて欲しい 杉並観光イベントブース 観光案内所と共に必要だと思ひます 阿佐ヶ谷をスタート地点として散策コース(神社仏閣コース 博物館コース 知る区ロード事業の復活 等)を設定しポイント地点を設けてポイントを交換出来る様にする ポイント交換場所にする事で最低限阿佐ヶ谷に2回は来る事になると思ひます 屋上の有効活用 再エネ事業や緑化 等以外新たな利用方法がないか検討をお願いします
- 立場や考え方の異なる方々とグループワークを行ったことで、自分の街・阿佐ヶ谷に対する見方が拡がりました。ありがとうございました。
● 杉一小移転後の跡地活用は2030年頃にはスタートすると思ひますが、その後も5年、10年毎に区民の意見を聴く場(ワークショップなど)を開催して時代の変化に合った目的・使い方にブラッシュアップすると良いのではないのでしょうか。建物は50年以上耐える構造としながら、内装を柔軟にリフォーム、リノベーションできる空間に設計すると目的・使い方の変化に対応できると思ひます。
- 与件の提示があった方が、議論が発散しすぎないかと思ひました。
● でもとてもよい機会だと思ひます。
● 総評が長いと思ひます。皆が発表する時間と、それにFBする時間の方が大事ではないかと。

- 今後の展開が楽しみです。ハード面と一緒に是非循環していくようなソフト面の在り方も考えられると良いと思いました。そう言った意味でも市民でも自分たちの地域に参画している意識が持てる良い機会でした。

一点、最後の総評でみんな防災を意識していると話していましたが、それはその前の回で課題として提示されていたからで、話し合いの総意で防災が必須！となったわけではないと思いました。ただ、生きていく上で大切な視点だと思いますので、総評にもありました通り、日常遣いに+αで有事の事態にも備えられることは大事だと思います。さらに議論を深めるのであれば、ファシリテートが専門の方々に来てもらっても良いかもしれません。

- 住んでいる場所は身近で、とても関係が深いのに、普段は当たり前になっていて、考えたことがありませんでした。みんなで考えることで、普段は気がつかなかった良い事、見直した方が良いことに気がつくことができ、とても有意義に感じました。まずはこのように考える機会があるという事が、大事なんだと思います。

- 区からある程度の前提条件の仕切りをされた方が良いかも知れない(あまり縛ると自由度が損なわれることもあるが)

①建物の高さ面積等は参加者は気にしなくても良い。プロに任せるべき事項。

②時間軸を示す必要がある。今まさに杉一小の移転に合わせて進められるべき計画のこと。(産業振興館の跡地利用にまで広げては、議論はまとまらない)

- 所属した班のメンバーがバランスよく、とても楽しく話し合いをすることができました。

初めて、地域の活動に参加でき、杉並区が区民の意見を取り入れて進もうと考えていることがよくわかりました。2回目には、区長もいらっしゃり、一人一人の意見に耳を傾けている様子がありました。

区長がいらっしゃったことでより今回のみんなの意見がより反映されるのではないかと期待が上がったのではないかと思います。

新しいことを生み出し考えることは楽しいですが、形にするのはとても大変かと思います。オープンセレモニーを行う際には、ぜひ今回の話し合いに参加された皆さんをご招待いただけると幸いです。

お疲れ様でした。

- 阿佐谷の街がみんなにやさしく、くつろげる街になって欲しい。

- 2回セットのセッションというのが良かったです。1回目を経て考えが変わったり、後で思ったこと等を言うことができました。役所の方とリーダーの方が、うまく議論をまとめたり、問いかけをしてくださったことも大きかったです。

50年後・100年後については、まだ漠然としたイメージしかありませんが、グループの方が「つながり・交流ができる場所が良い」とおっしゃっていて、アナログな感覚を持ち続けられるような、そんな場所になってほしいなと思いました。

自分の意見を整理して話すのは得意ではないですが、また機会があったら参加してみたいです。

- テーマが具体的で、意見を出しやすかったです。施設計画については、色々な考えが有って興味深かったです。人々が日常的に利用出来る施設があることで災害時などに円滑に物事が進むと思います。8時過ぎまでやっているカフェ＋図書館、ぶらっと時間潰しが出来る空間スペース、多目的ホール(席数150-200席程度)、スポーツ施設(場合によっては移動式座席で多目的ホールと兼用)など、それにメインの公共施設のレストラン、味と価格設定が適切なら駅前の場所柄多くの人を呼び込めると思います。役所の食堂はどこでも人気があります。別途、外国人の生活やマナー理解、文化交流向上のための国際交流センター設置が急がれます。防災公園については、緑地広場として地面に傾斜や小山をつくりボール遊び等を制限します。コンサート向けに、建物前面にテラスなどの舞台(組立式でもよい。)をつくり、そこに向かって多少傾斜を付けるのも良いかもしれません。芝生は、散水施設と定期的に刈ることで維持が出来ます。夏芝は、冬には枯れますが。

- ・興味深い試みで、大変面白く参加させていただきました。

・セッションの内容が実際の計画にどのように反映されるのかを、もう少し具体的に説明をしていただいたかったと思います。

・セッションの全体像が見えないので、過去も含めてセッション全体の説明をしていただいた上で、今回は杉一小跡地利用の回であったという説明があればよかったと思います。

・2回で議論を深めたりまとめるのは難しいと思います。しかし、区が区民の意見や意向、志向に耳を傾けるという意味では大変良い方法だったと思います。

- この様な取り組みを他の案件でも実施頂きたいです。

- 時間的なこと、それに伴う費用のこともあると思いますが、まち歩きなどがあれば、実感としてイメージが湧くのではと思いました。
また同じ時間を過ごせてので、その後集まれるしかけ、交流タイムなどがあつたらよかったかと思います。
多世代交流の場と言うご意見もありましたが、ただそこを開くだけでは難しいこともあるので、若い世代を中心に次につながるものが、このセッションだけでなくあるといいなと思いました。

- まずはありがとうございました。
皆さんが阿佐ヶ谷のまちを大切に思っていることがわかって、とても良かったです。
改めて、これからもこのまちに住み続けたいと思いました。
一方で、土地を持たない私たち世代(40代)が、今後も阿佐ヶ谷エリアに住み続けることは、金銭的にますます難しくなっています。
(実際に私自身も、将来を考えると地方に拠点を移す可能性が高いと感じています。)
私たちの世代が安心して住み続けられるまちづくりをしていかなければ、
50年後には子どもたちの世代がこのまちからいなくなってしまうかもしれません。
だからこそ、今の世代が主体的に関わりながら、次の世代へつなげる場を育てていくことが必要だと思います。
その意味でも、今回の学校跡地はとても貴重な場所だと感じています。
さまざまな意見をまとめ、具体化していくことは簡単ではありませんが、
あらゆる世代の方が自由に交流できるような、地域の人たちが働き、学び、集う“まちのリビング”のような場所にできたらと思います。
仕事と暮らし、地域活動が緩やかにつながる拠点として整備できれば、
まちの多様な世代が関わり合いながら、新しい阿佐ヶ谷らしさを育てていけるのではないでしょう。

- いろいろな人の意見・考えを聞くことができ、それを基に更に考えを発展させたり、自分自身気付いていなかった事や考えの整理ができて良かった。

- グループ討議の場でも意見が出ていましたが、「まちづくりセッションをやった」に意味があるのではなく、ここで出た意見が今後どのように活かされるのかが重要だと思いますので、宜しくお取り計らい頂きますようお願いいたします。

- とても良い取組だと思いました。
定期的に区民の声を反映できる場があるといいです。
あさがやがどのような街になるのか、とても楽しみです。
事務局の皆様も、準備が大変だったと思います。ありがとうございました。

- メンバーの相性による差は多少あると思いますが、違いを受け入れながら話せて良かったと思います。
区長も親しみやすく優しく安心して話せました。

- ①Q2=全体を踏まえた質問に、即答時間無くフォロー欲しかった。Q3=参加したいが、どのような形かによるので。
②参加者が杉並、阿佐谷をトータルに自由に現状～未来に向け意見が出たのは大変良かったです。とは言え、現在も夏は暑く命の危険の中、環境問題や雨水の対策等から不可欠と思うので、是非インフラも実行していただきたい。
③住民・地権者・区の構想を出し合い、未来、50年／100年後、未来都市に移行できたらと思います。
今後、開かれた杉並区となり、より生き生きと生活できるよう皆で創りたいです。
司会者、ファシリテーター・矢口教授、区の職員の皆様、大変お世話になりました。
そして、素晴らしい結果に向け今後共、宜しくお願い致します。"司会者、ファシリテーター・矢口教授、区の職員の皆様、大変お世話になりました。
そして、素晴らしい結果に向け今後共、宜しくお願い致します。

- 此の会の役割、位置付けについての意見・質問
＊前提として「あさがやまちづくり」と銘打つのであれば、杉一(小)跡地の活用アイデア募集という限定した発想ではなく、阿佐ヶ谷駅北口地区全体を捉えたまちづくりの一環・第一弾としてとらえるべきではありませんか。
＊隣接する西友ストア、三菱UFJ銀行、向かいのヨークの将来構想も調査すべきです。予め周辺と親和性のある建物、施設としておかないと魅力的な街を期待できません。
＊そもそも素人集団が持ち寄った思いつきで、良い計画が出来るというのは幻想ではないでしょうか。住民の意見収集という美名の下に素人集団のアイディアに依存した基本計画では、非効率であり結局無駄なコストと不人気な施設出現を招くことになるのではないのでしょうか。

か？都市開発の専門家による「阿佐ヶ谷駅北口再開発計画」の叩き台を複数作成頂きそれについて私達のコメントを求める方が、遥かに迅速で結果的に優れた計画になるのではないですか・・・此の会が「区民の声を取り入れた行政」・・・のアリバイ作り

- 阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくりワーク・ショップに参加して、参加したみなさまの気持はほぼ同じだと感じました。

北口駅前の長い期間手つかずなのが、南口と北口の力が合わされなかったように思った。

何が阿佐ヶ谷らしさかを選ぶ必要だと思う。

できれば地権者かたがたの協力を願ってます。

司会の柴田さん、矢口先生、区役所の方々にお世話になりました。

ありがとうございました。

- 【跡地活用の考え方について】どれくらいの予算が使えるのか知りたい(区の財政状況が心配)他の地域(他の6行政地域)との地域格差が更に広がる可能性があると思う 施設を作る優先度合(必要性)の基準を明確にし透明性のある施設計画をして欲しい 受益者負担(サービスの公平性)も充分に考えて欲しい 区民の多様なニーズに対応した全体最適を考慮した施設を作って欲しい 多文化共生社会に対応した施設を作って欲しい 特に周辺施設との差別化役割分担の明確化は必要だと思う 人生100年時代に合わせた施設を作って欲しい 無料エリア有料エリアメリハリの効いた施設を作って欲しい【文化庁の考え方に賛成】日本の強みとなるコンテンツ(建築 ファッション マンガ等)の拠点施設も必要 文化施設が新たな資本を生み出す存在に 恒常的な施設だけではなくテンポラリーな取組や仮想空間などの「場」も重要 文化施設は教育健康分野等他分野との組み合わせが大切 文化施設を維持するには社会や地域にとってかけがえのない施設である事 次世代に残したい又来たいと思う層から文化施設への寄付を得る余地あり 等【区財政に優しいみどり防災やすらぎの町】について 区役所の建替問題に多面性な検討が出来るため建替方針が決まるまでは最低限の施設整備と残りは一時的に遊び場にする 公園ではなく遊び場にする(公園にすると用途変更が大変な為)地権者の理解が特に重要になると思う 防災広場を作る 遊び場を中心とした公園区の設定(けやき公園との差別化 役割分担)が必要だと思う 在宅避難が基本だが帰宅困難者の一時対応が出来る広場にする事が大事だと思う 震災救援所設立については杉並第一小学校や防災課との協議が重要だと思う 阿佐ヶ谷北東地区としてみどりの森は絶対に必要だと思う 雨にぬれ透す木の活用も大事だと思う 屋根のある散歩道やある程度の日陰エリアも意識して作って欲しい ペットも遊べるエリアも検討して欲しい 昼休みサラリーマンがのんびりお昼を食べれる様なベンチが欲しい 禁煙エリアかもしれないので喫煙エリアの有無の検討もお願いします 河北病院と連携して開発エリアにバスか新規の交通手段の整備も検討して下さい(これがまち

づくりの基本の様な気がします)対象 阿佐ヶ谷地区 対象者 全世代

【区財政に優しい公共施設移転行政サービス向上福祉の町】について 利用者の利便性が向上する 移転元に新たな施設が建てられる 区が借り入れている物件は一箇所にまとめた方が費用の削減や作業効率の向上が見込まれると思う し区の施設が全面的に入居すれば地権者も安心すると思う 再移転する際に計画的に移転先を考える事が出来ると思う「障害者関連施設の移転」について 杉並アイプラザ 駅から徒歩12分 バス路線も廃止 河北病院との親和性も高い バスや電車を使えば区内全域から来やすい 施設に寄った帰りに駅前で買い物もしやすい 杉並障害者福祉会館 駅からバスを使わないと施設に出来ない 多文化共生社会の推進の指針を踏まえて障害者関連施設の移設も検討して下さい 対象 全区 対象者 全区民(特に障害をお持ちの方)「高齢者関連施設の移転等」について 阿佐ヶ谷北部は以前の施設再編計画でゆうゆう館がなくなり高齢者の為の福祉施設が減り行政サービスが低下したので小さくも良いので専用施設を希望します 河北病院との親和性も高いと思う 施設にくる事によって認知症対策健康寿命の促進に繋がると思う 対象 阿佐ヶ谷北部地区 対象者 高齢者「保育園の移転等」について 区立保育園の移転や仮園舎の活用は出来ないか検討して欲しい 認可保育園が出来たら利用者の利便性はかなり向上すると思う 対象 阿佐ヶ谷地域及び阿佐ヶ谷駅利用者 対象者 乳幼児親子「児童厚生施設の移転等」について 阿佐ヶ谷児童館が移設すれば他の施設に転用出来る(本来は子ども子育てプラザに転用予定)既存改築よりも新規に児童館を作った方が児童館の機能強化がしやすいはずだと思う(特に中高生機能優先児童館を作るなら)「図書館の移転等」について 一行政地域に二図書館が区の方針だと思うが阿佐ヶ谷高円寺北部地区として(高円寺地域のみ一図書館)図書館の設置を検討して欲しい 高井戸地域区民センターの様な図書室でも良い 対象 阿佐ヶ谷高円寺北部区民 阿佐ヶ谷駅利用者 対象者 全世代「防災住宅の移転等」について 成田や高円寺の職員防災住宅が移転すれば移転元が他の施設に活用出来る 災害時に区の職員の作業効率が向上すると思う 区の職員の福利厚生も今より向上すると思う 対象 区職員 対象者 区職員住宅入居者「その他施設等」移転元の施設が活用出来るので行政で再度移転出来る施設の有無の調査確認をお願いします 借り入れ物件の扱い方も充分に検討をお願いします 対象 各地域 対象者 施設による【杉並(阿佐ヶ谷)シンボルにぎわいの町】について 区予算を集中して大型施設を複合してシビックエリアを作り利用者の利便性を最大に向上させる 地域格差(近隣自治体 区内他地域)の解消を図る「大型児童厚生施設」他自治体の施設を出来るだけ多く見学し参考にして欲しい(今後区内に設置予定の中高生優先機能児童館の設計にも役立つはず)ゆう杉並(杉並区) 青少年ステーション CAPS(調布市)ジャンプ東池袋 長崎(豊島区)フレンズ本町(渋谷区)等 共有エリアとの一体運営でよりフレキシブルな施設が期待出来る 他区では本格的なサンドバッグ設置 ローラスケート無料貸出 図工機能強化児童館等があります 杉並区の児童厚生施設は図書機能(そもそも図書室と呼べない児童館が多い気がします)が以前より低下しているので図書コーナー

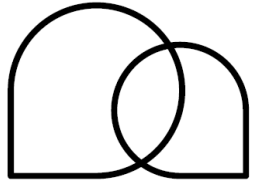
有無検討をお願いします 調理室 ホール ロビー 体育室 スタジオ 工芸室 スタジオ 等は夜間目的外利用出来る様にお願いします ゆう杉並や他の区立施設の利用者数から考えて工芸室や調理室の有無は特に検討をお願いします ゆう杉並の様な施設が出来たら中央線北側の荻窪から阿佐ヶ谷高円寺の小学校高学年から中高生の利用が多く見込まれると思う ゆう杉並と違い乳幼児機能の強化もお願いします(阿佐ヶ谷高円寺北部に子育てプラザがない 高井戸 宮前地域は乳幼児の為に日曜日開館と聞いています)対象 天沼中 東原中 杉森中 高円寺学園 阿佐ヶ谷中 学区 阿佐ヶ谷駅利用の私立学生 対象者 18歳までの方及び乳幼児親子 大型多世代多文化交流施設 杉並区には特に若者世代の世代が利用出来る利用したいと思う施設が少ないと思う(児童厚生施設は増える予定)高齢者施設も施設再編で減ってきている 他区の施設を見学し参考にして欲しい 武蔵野プレイス(武蔵野市)城山ふれあいの家さくら館(中野区)渋谷区青少年館(渋谷区)男女平等推進センター(杉並区)交流センター(三鷹市)等 高齢者のゆう杉並をお願いします 河北病院との親和性も高い 多世代交流を通じて認知症予防になる 若者世代のゆう杉並をお願いします 今のゆう杉並は18歳までしか基本使えない(児童厚生施設の為)のでその後使える施設がほとんどない トー横キッズ問題解決の為にも阿佐ヶ谷を青少年の聖地にしたいと思う 利便性が良いので町のにぎわいにも寄与出来ると思う 多文化共社会推進の考え方から外国籍の方々が楽しく利用出来る文化交流スペースが必要だと思う 例えば杉並万博会場として日常的に外国籍の方々とふれあう機会を作るべきだと思う 男女平等推進センターに関しては今の場所(ゆう杉並と複合化)だと子ども達とふれあう機会があるので(子ども達の視線が気になる方 感受性の高い子ども達)の視点からも移転の検討をお願いします 対象 杉並全域 対象者 全世代 特に外国籍の方々「大型文化施設」精神的豊かさの充実度が向上すると思う 町のにぎわいに寄与すると思う かぞくのアトリエ(渋谷区)代官山ティーンズクリエイティブ(渋谷区)近隣自治体美術館博物館 等 近隣自治体の施設を実際に見学して参考にして下さい プロの方々による本格的な指導(有料)が出来る様な施設やプログラムが少ないので出来たら嬉しい 美術館に関して 感受性が磨かれる 精神的豊かさの充実が図られる 歴史的背景が学べる 芸術文化の発展保護に寄与出来る 近隣自治体にはあるが杉並区には区立美術館がない 等 美術館があった方が良くと思う 一方近隣自治体に美術館(練馬区 板橋区 渋谷区 目黒区 世田谷区 武蔵野市 等)があるからあえて要らないとも思う 美術館は他施設との多機能化が難しいと思う 美術館は他施設とくらべても多額の建築費維持費(設備投資 空調費 人件費)費用対効果はどうか特に検討して下さい 杉並ウェブミュージアム(美術館を作らない)の充実(認知度向上 展示作品の選び方)を先に行なうべきだと思う 美術鑑賞についてはぐっとパス(美術館博物館等共通入場券&割引券)購入者の支援を行なった方が予算面や文化向上の面でも良いと思う 美術館のイメージ(絵画 彫刻 版画 写真 工芸品 現代アート 等)は人によって違うので多くの方が満足する美術館は難しいと思う 多くの人

を呼び込む為の作品を常時用意出来るのか心配です(他施設の利用者人数を知りたい)杉並区に美術館を作るなら女子美術大学のある高円寺地域の方が親和性が高いと思う 設置先は女子美術大学内や旧高円寺図書館蚕糸の森公園高円寺東児童館などがあると思う 大型文化施設の無い地域に誘致し地域の活性化を図る事も検討して欲しい 展示室に関しては照器具や天井の高さの兼ね合いがあるので杉並商工会館移転時の展示室の設計の際検討のほどをお願いします 個人的には現状の展示室や区民ギャラリーも他区と大差が無いと思う(素人目線)対象 東京都 対象者 全世代 博物館等について 科学的理解や歴史認識の向上が図れる 文化財の保存活用が図れる 町のにぎわいに寄与出来ると思う 美術館よりも郷土博物館別館の移転等による展示エリアの拡大の方がより現実的だと思う 阿佐ヶ谷文士村の充実 貞明皇后関連の展示 その他杉並区にゆかりのある文化人芸能人の特別展示展を開催して欲しい 対象 東京都 対象者 全世代 杉並アニメーションミュージアム移設について 間違いなく町のにぎわいに寄与出来ると思う 特に中野駅周辺のサブカルチャー文化との親和性も特に高いと思う 外国籍の方の来館も増えると思う 一方多少の文化の違いによるトラブルの増加は懸念材料だと思う 地域住民のご理解や地域ボランティア(多様な外国語に対応)の育成が必ず必要だと思う そもそも杉並第一小学校移転時の当初計画には杉並会館(杉並アニメーションミュージアム含む)の移転計画があったと認識してます その後小学校との併設はセキュリティ等の問題もあり移転計画は無くなったと認識してますが現地建替でないのであれば杉並アニメーションミュージアムの移転の優先順位(跡地活用)は高いと思います 阿佐ヶ谷に移転したら今より高額なネーミングライツ料金がもらえるかもしれないと思う 対象 全世界 対象者 全世代 特に観光客「大型スポーツ施設」について 住民の健康増進 地域との関わりが増える(人とのふれあい)体育館 阿佐ヶ谷高円寺北側側には屋内スポーツ施設がないので体育館が必要ではないか(地域格差是正)帰宅困難者対応にも活用出来ると思う 来年度より一般開放が18歳以下が無料になるので施設整備したら施設利用に期待が持てる 対象 阿佐ヶ谷高円寺北側地域 対象者 全世代 スポーツジム 近隣の区立体育館(荻窪体育館 妙正寺体育館 高円寺体育館)にすらスポーツジムがないのでスポーツジムが欲しい(地域格差是正)体育館よりスペースは必要無いのでより現実的な案だと思う 来年度より18歳以下は無料になるので施設整備したら施設利用に期待が持てる 対象 阿佐ヶ谷高円寺北側地域 対象者 施設利用年齢対象者 プール 阿佐ヶ谷区民センター移設の際にけやきプールがなくなり困っています(特に幼児)けやきプール廃止後の代替案の近隣学校プール開放の期間が短すぎると思う 学びのプラットフォームの活用により杉並第一小学校のプールも一般開放出来るのか知りたい 屋内プール整備には多額の整備費用がかかると思うが和田堀公園プールが現地建替出来ないのなら跡地活用の検討に入れて欲しい(行政地域は一緒のはず)対象 阿佐ヶ谷地域 対象 全世代「その他」について 屋内ドックランも検討して欲しい(東京都に使用料を払ってい

来ないのなら跡地活用の検討に入れて欲しい(行政地域は一緒のはず)対象 阿佐ヶ谷地域 対象 全世代「その他」について 屋内ドックランも検討して欲しい(東京都に使用料を払っているのは杉並区だけのはずだと思う)杉並区北部をカバー出来る 災害時のペット同行避難に活用出来る アーバンスポーツ施設(屋内 屋上)の跡地活用の検討に入れて欲しい 旧若杉小学校跡地活用で当初予定案で示された大型施設が物理的に作れないと分かった為移転先として検討して欲しい 屋内や屋上なら騒音は気にしなくて済むと思う 高円寺との親和性も高いと思う 町のにぎわいに寄与すると思う マナー違反や事故の増加に関しては心配があると思う ラウンジやテラスは出来るだけスペースを取り区民ギャラリーやイベントブースを設けられるようにして欲しい 一階には必ず乳幼児スペースを設けて欲しい 一階から二階まではできればスロープがあると良いと思う 阿波踊りの練習や演劇の練習が出来る防音設備のある部屋が欲しい 屋外や屋内にアニメキャラクターの看板やオブジェがあると町のにぎわいに寄与出来ると思う 観客席のある小型アリーナが欲しい(格闘技が出来る)阿佐ヶ谷七夕祭りの準備が出来る部屋が欲しい 屋外に野外ステージが欲しい 阿佐ヶ谷や高円寺のお笑い芸人のライブが毎日出来ると良い(大阪なんばのように)と思う 無理は承知で杉並ラーメン博物館が出来たら人は集まると思う 日本フィルハーモニー交響楽団による定期的な演奏会を開いて欲しい 個人は阿佐ヶ谷はジャズの町とは思ってないがストリートピアノが弾ける場所と時間があっても良いと思う 誤字脱字は意味をくみ取って頂けると助かります

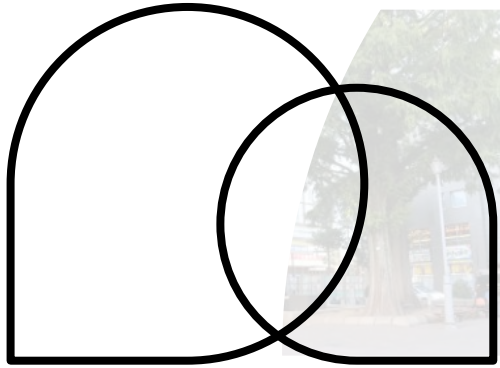
※主な意見を掲載しています。

また、個人名が特定できないように文章の調整を行っている箇所があります。



あさがやまちづくりセッション 第8回【後半】

配布資料



あ さ が や
ま ち づ く り
せ ツ シ ヨ ン

第8回 後半



杉並第一小学校移転後の
跡地活用アイデアを考えよう

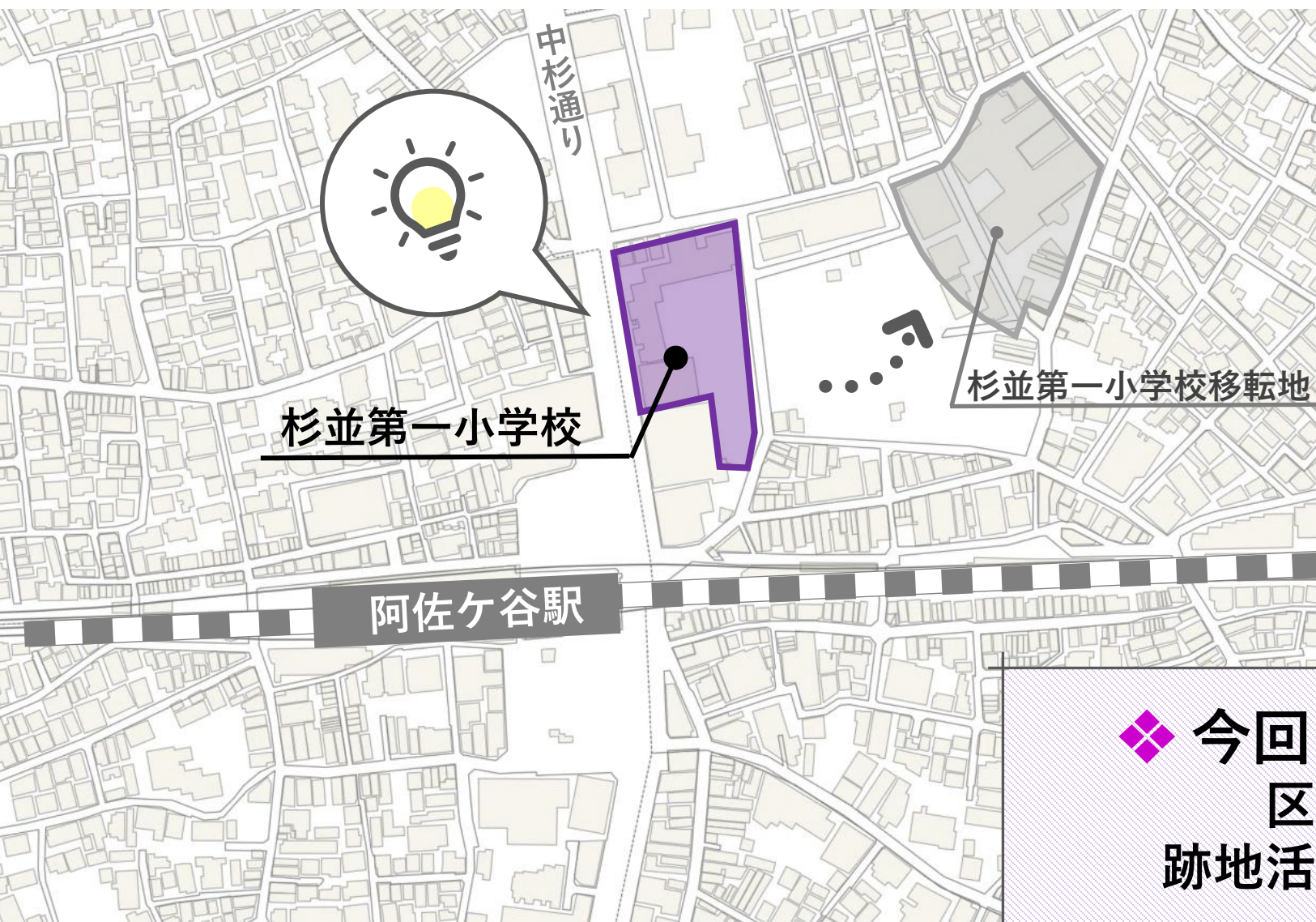
令和7年10月26日（日）
14時～17時



本日のテーマ

02

「杉並第一小学校移転後の跡地活用のアイデアを考えよう」



◆ 今回のセッションの目的 ◆
区民の皆さんが考える
跡地活用のアイデアを聞くこと



開会挨拶

杉並区長 岸本 聡子



傍聴のルール

- 傍聴席を設けておりますので、傍聴席に着席のうえ傍聴ください。
- 傍聴者の発言はご遠慮ください。
- 私語や参加者への声掛け、過度に近づくなどの行為はご遠慮ください。
- 写真撮影、ビデオ撮影、録音はご遠慮いただいております。
- 会が終了するまでは、SNS等への発信をお控えください。
- その他、運営の妨げとなる行為などがありました際には、事務局スタッフの指示にご協力をお願いします。



司会者・学識経験者・ファシリテーターの紹介

04



司会者

柴田 真光

ネイバーズグッド(株)
代表取締役



学識経験者

矢口 哲也

早稲田大学創造理工学部
建築学科教授

グループ進行役

A班



木下 幹基

阿佐谷ジャズストリート実行委員
/ボイストレーニング教室
ワンバイブス代表室長

B班



今川 里桜

ネイバーズグッド(株)

C班



鶴岡 昇悟

ネイバーズグッド(株)

D班



高橋 篤

ネイバーズグッド(株)

E班



太田 剛寛

NPO法人西荻ぶれま
委員会理事

F班



村井 ちか

すぎなみU30ミーティング



ワークショップの全体スケジュールと予定

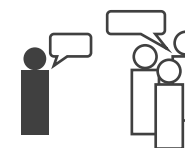
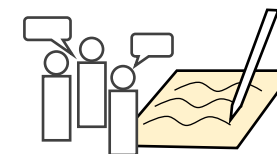
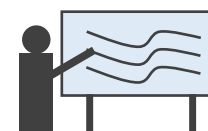
ワークショップ
のゴール

杉並第一小学校移転後の跡地活用についてアイデアを出し合い
みんなで共有することができた

回	日程	予定
第8回 前半	令和7年(2025年) 9月20日(土)	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none">・杉一小移転後の跡地のことを知ろう！・将来像や跡地のこれからを話そう！ <p>ゴール</p> <p>阿佐ヶ谷駅周辺と杉一小跡地の将来像や、跡地を一体的に有効活用する方法について意見交換をすることができた</p>
第8回 後半	令和7年(2025年) 10月26日(日)	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none">・跡地活用のアイデアを紹介しよう！・アイデアを深掘りし、共有しよう！ <p>ゴール</p> <p>前半で意見交換した内容を踏まえ、参加者同士で跡地活用のアイデアを出し合い、深掘りし、共有することができた</p>



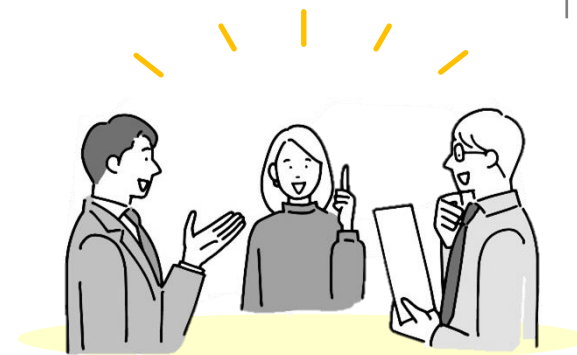
1. 開会・挨拶・全体の流れ	(14:00～14:10)	10分
2. アイスブレイク	(14:10～14:20)	10分
3. 区からの説明 前半の振り返り、区からの補足説明等	(14:20～14:35)	15分
4. グループワーク グループワークの説明 (約 5分) STEP1 アイデア、提案した理由の発表 (約20分) STEP2 活用アイデアのイメージを膨らませる (約25分) ～休憩 10分～ STEP3 50年後、100年後どうなっていくのか (約30分) まとめ 全体共有（発表）の準備 (約10分)	(14:35～16:15)	100分
～ 休憩 10分 ～		
5. 全体共有	(16:25～16:45)	20分
6. 学識経験者の講評	(16:45～16:55)	10分
7. 諸連絡・挨拶・閉会	(16:55～17:00)	5分





Point 1 相手の声、自分の声をよく聴こう

Point 2 お互いの違いを楽しんで、学ぼう





時間：1人1分程度

各グループで1人ずつ

第8回【前半】での気づきや感想を話しましょう

例：グループで話して気づいたことや、他の参加者の意見を聞いての感想など。





準備体操ワークの主な意見「跡地活用を考える上での“もやもや”を解消しよう」

○わからなかったこと、もっと知りたいこと

- ・ 杉一小跡地だけでなく、阿佐谷地域全体や阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくりの方向性について知りたい。
- ・ 産業商工会館の移転が予定されている理由や移転される予定の機能は。
- ・ 跡地活用の今後の検討の進め方について。



○わかったこと

- ・ 跡地活用のスケジュール感
- ・ 水害対策、耐火、耐震、緊急輸送道路など、地域の防災性が足りないこと
- ・ 駅に近く便利な場所かつ広い面積がある。もうできないと思う貴重な場所



○私の感想

まちづくり方針等を踏まえた跡地活用検討の方針の連携が大事

帰宅困難等の対応があるといいな

完成した姿を早く見たい

阿佐谷をよくする活用をしたい

阿佐谷は低地で水害が心配

丁寧に区民意見を聞いていく姿勢であること。良かった

区役所東棟の更新と併せて考えるべきではないか



グループワークの主な意見・アイデア「阿佐谷の将来を見据えた跡地の活かし方を話そう」

“産業の振興やにぎわいの創出”

様々な年代や人種が集まり、交流できる場所
子どもが安心して遊べる / 区民が活動できる
観光や外から来た人が集まる
広場・ホール / 地域イベントの拠点



“みどりの保全・創出”

周辺のみどりとの接続や連続性
みどりのやすらぎ / 散歩や休憩ができる
みどりが阿佐谷の特徴
駅に近い緑地 / 広場 / 屋上緑化

“3つの街区が連携した文化・医療・教育の拠点”

文化の拠点 / 図書館 / アニメ / 阿佐谷文士村
子どもが安全に過ごせる場所 /
子どもが遊べる文化施設 / 文化と学びの中心拠点

“地域の防災性・安全性の向上”

地域防災の拠点（防災公園 / 水害・災害避難場所
オープンスペース / 帰宅困難者対応 / 防犯対策）

その他 の意見・アイデア

シンボル性 / ユニバーサルデザイン / 阿佐谷らしさ
阿佐ヶ谷駅と連携（アクセシビリティ）



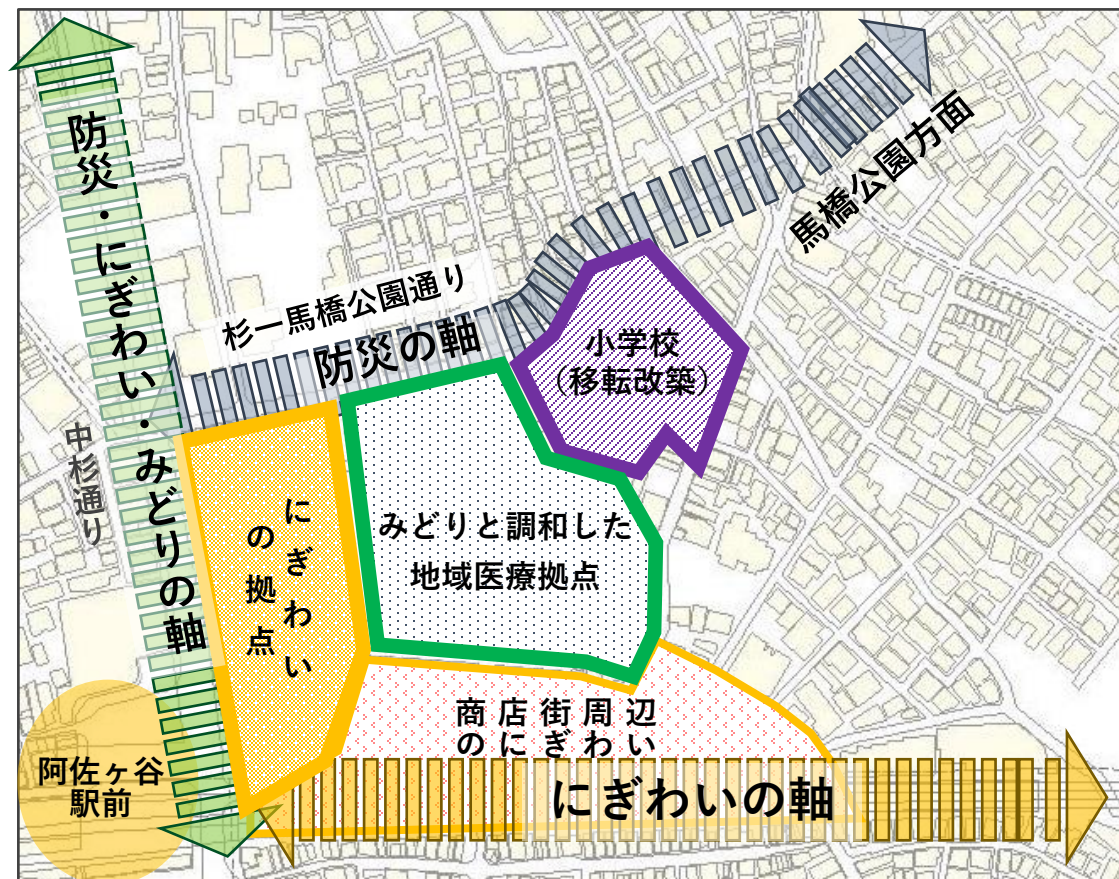
阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくりについて

まちの将来像

防災性・安全性の向上と、
駅前にふさわしい都市機能の強化、
みどりや住環境と調和したまちづくり

将来像を実現するためのまちづくりの目標

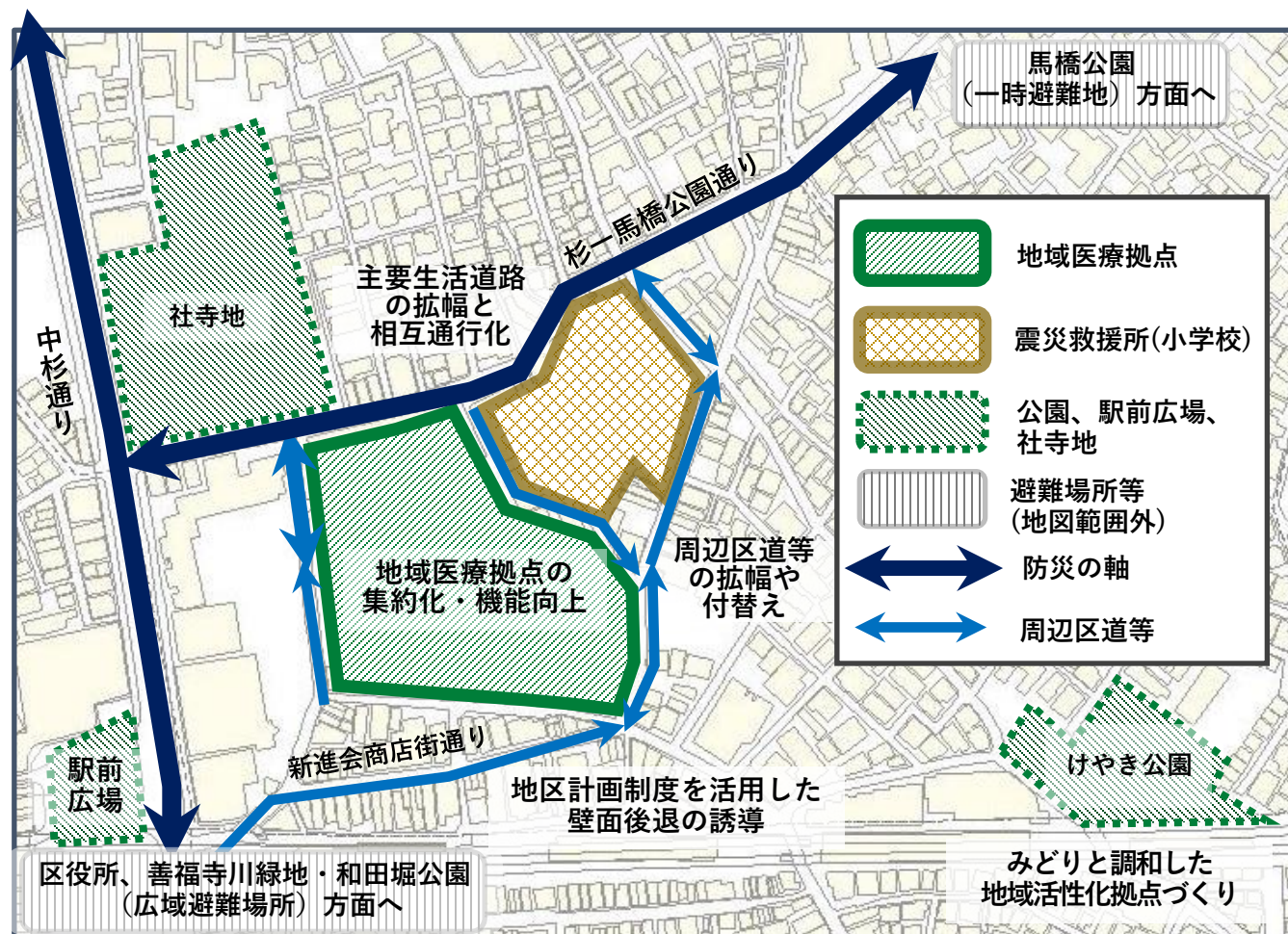
- 災害に強い安全・安心なまち
- にぎわいや利便性が高まり、来街者が集うまち
- 歴史と文化が調和したみどり豊かなまち



出典：阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画（平成31年3月）



小学校や総合病院の移転改築を契機とした **災害に強い安全・安心なまち**をつくる



出典：阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針

①周辺道路の整備による防災性と安全性の向上

- 主要生活道路である杉一馬橋公園通りの拡幅・相互通行化と周辺区道等の拡幅・付替えを実施予定。
 - 災害時の一時避難地である馬橋公園方面へのアクセス向上や避難路の確保、周辺の消防活動の円滑化、歩道設置による通学路としての安全性向上、自動車交通の円滑化等を図る。

②地域医療拠点の集約化・機能向上

- 医療施設の集約化や機能向上、中杉通りから病院への救急車両等のアクセスを改善を図る。

③災害に対する地域の安全性の向上

- 震災時に甚大な被害が想定される地域内に新たなオープンスペースを創出し、災害に対する地域の安全性向上を図る。

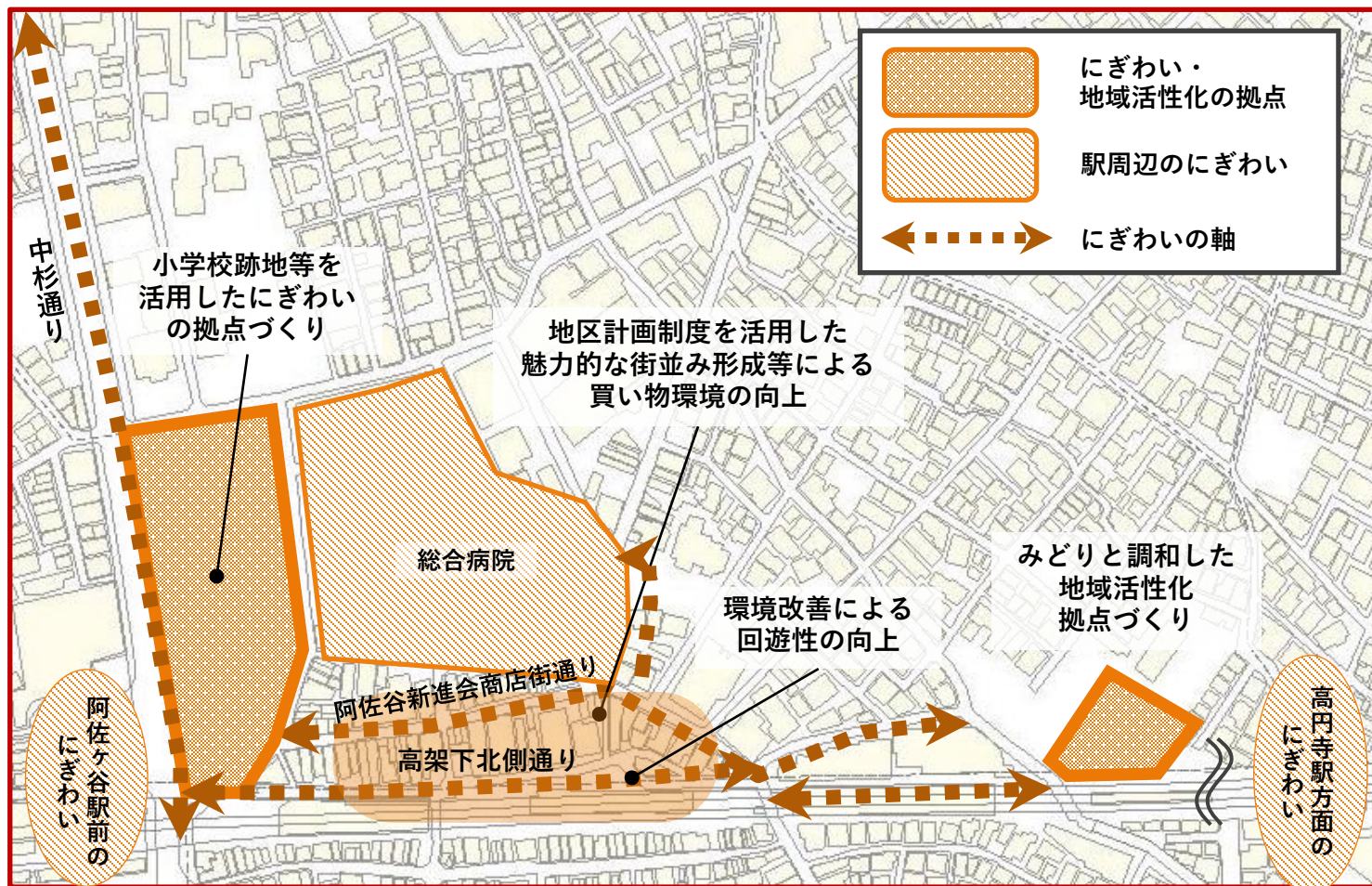


区からの説明：第8回（前半）の補足説明（阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくりについて）





立地を活かした **にぎわいや利便性が高まり、来街者が集うまち** をつくる



出典：阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針

① 駅周辺にふさわしいにぎわい創出

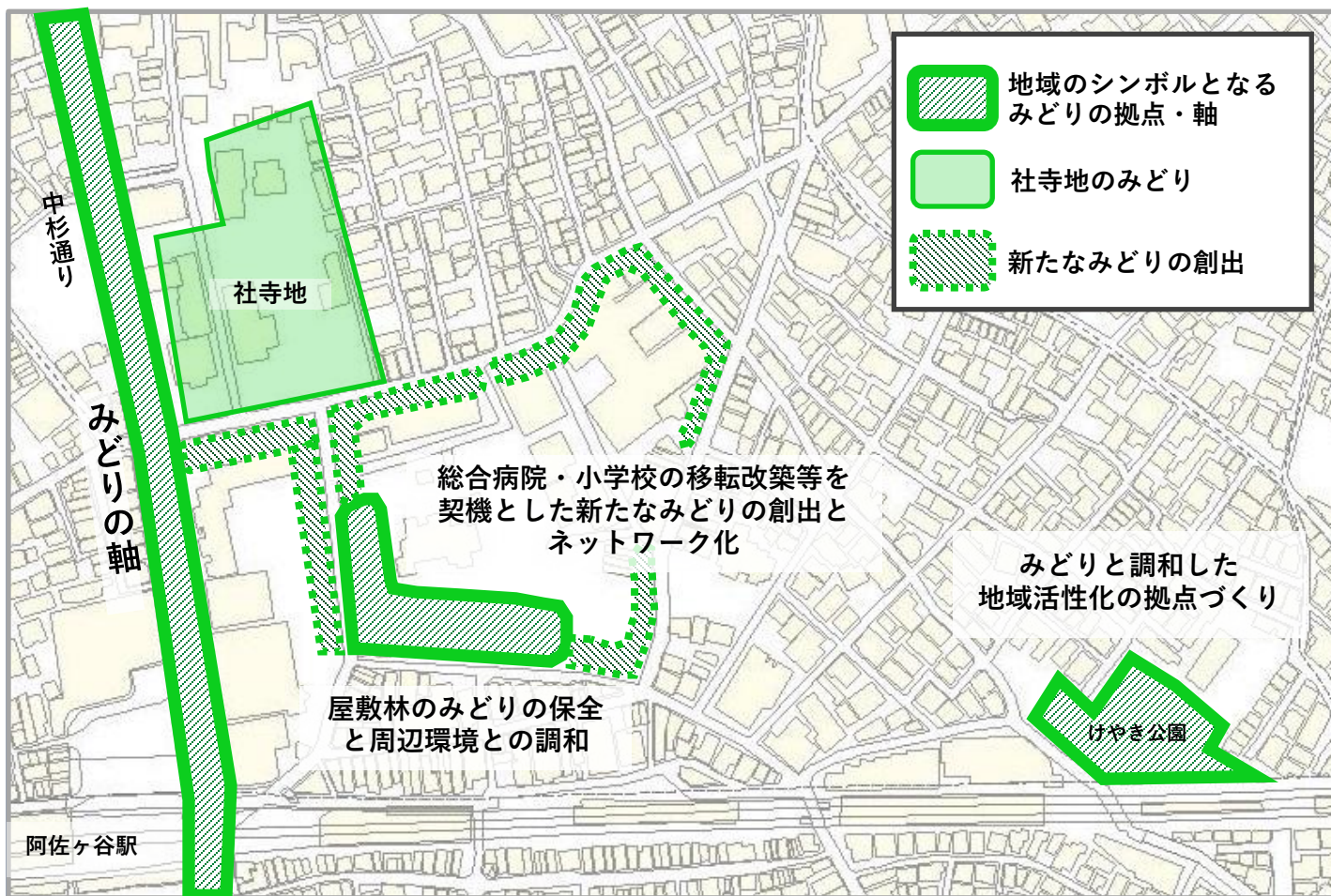
- JR阿佐ヶ谷駅至近の幹線道路沿道という立地を活かし、土地の有効利用や都市機能の向上を図り、駅周辺に相応しいにぎわい創出を目指す。

② 商店街周辺の歩いて楽しいまちづくり

- 新進会商店街通りでは、地区計画制度を活用した魅力的な街並み形成や歩行者優先化等により、買い物環境の向上等に取り組む。
- 鉄道事業者等と連携し、高架下通路や高架下北側通りの環境改善を進め、駅から高円寺駅方面や中央線南北方向など、地域の回遊性向上を図る。



小学校や総合病院の移転改築を契機とした **歴史と文化が調和したみどり豊かなまち**をつくる



出典：阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針

①屋敷林のみどりの保全と周辺環境との調和

- 土地利用の見直しと地区計画制度等の活用により、地域のシンボルであるけやき屋敷のみどりを将来にわたって可能な限り保全し、周辺環境との調和を図るとともに、地域住民や病院、商店街を訪れる人にもさらに親しまれるみどりとして、地域への開放を検討する。

②新たなみどりの創出とネットワーク化

- 新たなみどりの創出や中杉通り、社寺地等を活用したみどりのネットワーク化を進め、快適な空間づくりに取り組む。
- 建築物の機能更新等に当たっては、阿佐谷の土地の歴史やみどりを活かした景観づくりに取り組む。



区からの説明：第8回（前半）の補足説明（阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくりについて）



沿道緑地（幅員1.0m）



沿道緑地（幅員2.0m）

沿道緑地（2.0m）のイメージ



本図に示された区域や道路の形状等は概略です。



産業商工会館が移転した場合に想定される産業の振興やにぎわいの創出について

- ・平成29年に策定された杉並第一小学校等施設整備等方針では、産業商工会館のA街区への移転・整備と共に、産業振興関連施設の集約化による新たな取組も検討することとしている。
- ・産業商工会館を移転整備する際には、展示、集会、ホール機能を備えた施設とすることで、産業の振興やにぎわいの創出につながることも期待できるとしている。

○産業商工会館の現状等について

- ・現在の産業商工会館は築60年を経過しており、老朽化が進んでいる。
- ・平成28年度に耐震補強工事として、建物の一部（講堂）を減築している。

※なお、産業商工会館の移転後の跡地活用については現時点では決まっていない。
今後の行政需要や地域の意見・要望を踏まえて検討を進める予定

Memo 産業商工会館：産業団体や中小企業で働く方が、会議・打ち合わせ・講習会及び展示会等で利用する、産業の振興・発展を図るための施設



現在の外観



1F 展示・集会機能（展示室）



旧3F ホール機能（講堂）



跡地活用の今後の検討の進め方について

令和7年度

- あさがやまちづくりセッションで聞いた跡地活用のアイデアを地権者と情報共有する
- 区民の皆さんから広く意見を伺う取組を進める
- 区民等から頂いた様々な跡地活用のアイデアやご意見を踏まえ、区が検討調査業務を委託している事業者と共に今後のたたき台のベースとなる複数の概略案を作成する

令和8年度以降

区が作成した複数の概略案を示しながら、他の地権者と協議を行い
跡地活用の方向性を検討していく予定



区からの説明：前半での矢口先生の講評まとめ

阿佐谷の強いところ（阿佐谷の資産）

- ・みどりが豊か。
- ・文化的な歴史がある。
- ・阿佐谷の駅前として、緑や文化施設などが多く提案された。

阿佐谷の今後の可能性

- ・駅前の立地とシンボル性。
(地域の願望がシンボル性に現れているのでは)

阿佐谷の弱いところ

- ・防災面（木密地域で都市の余白が少ない）
- ・公園や人の溜まり場など、防災に資する用途が提案された。

将来的な脅威（将来抱えそうな課題）

- ・地域の衰退、コミュニティの弱体化。
- ・担い手、人材の不足。
- ・もしかしたら将来もう少し多様性を受け入れていくような土壌づくりが必要では。

第8回【後半】の検討ポイント

- 具体的な用途はこれからどんどん話し合えばよいが、使われ方や活動のイメージも重要。
- 「ゼロイチの用途選定」ではなく、「どんな場で、どんな人が、どんな活動をするか」を
考えることが大事。



STEP 1

考えてきた活用アイデア、提案した理由を1人ずつ発表しましょう（約20分）

跡地活用アイデアシートを模造紙に貼り、アイデア・提案した理由を発表しよう（1人2分程度）

STEP 2

活用アイデアのイメージを膨らませてみましょう（約25分）

- ①みんなのアイデアについて疑問点を質問しよう
- ②自分のアイデアをより良くするために「どんな人が、どんな活動をするか」を考え、**付箋（ピンク）**に書いてみよう

例）・阿佐谷の人がいつでも訪れ、ゆっくりできる場所
・遠くから訪れる人でにぎわう場所
・子ども、働き世代、高齢者が〇〇する場所 etc.

- ③付箋の内容を共有し議論しよう



【10分程度の休憩を挟んでください】

※タイミングはグループ進行役にお任せします



STEP 3

跡地やその周辺地域が50年後、100年後どうなっていくのか 考えてみましょう(約30分)

- ①アイデアが近いものを、みんなでグルーピングしよう
- ②グルーピングしたアイデアがカタチになった場合に、跡地やその周辺・阿佐谷のまちが、50年後、100年後にどんなまちになっていくのかを考え話し合おう

- ③ ②の意見がまとまってきたら、**付箋（青）**に記載しアイデアシートに貼ろう

例) ・みどりあふれる憩いのまち
・ランドマークとして発展していく商業のまち
・〇〇を発信するまち etc.

全体共有（発表）の準備をしましょう(約10分)

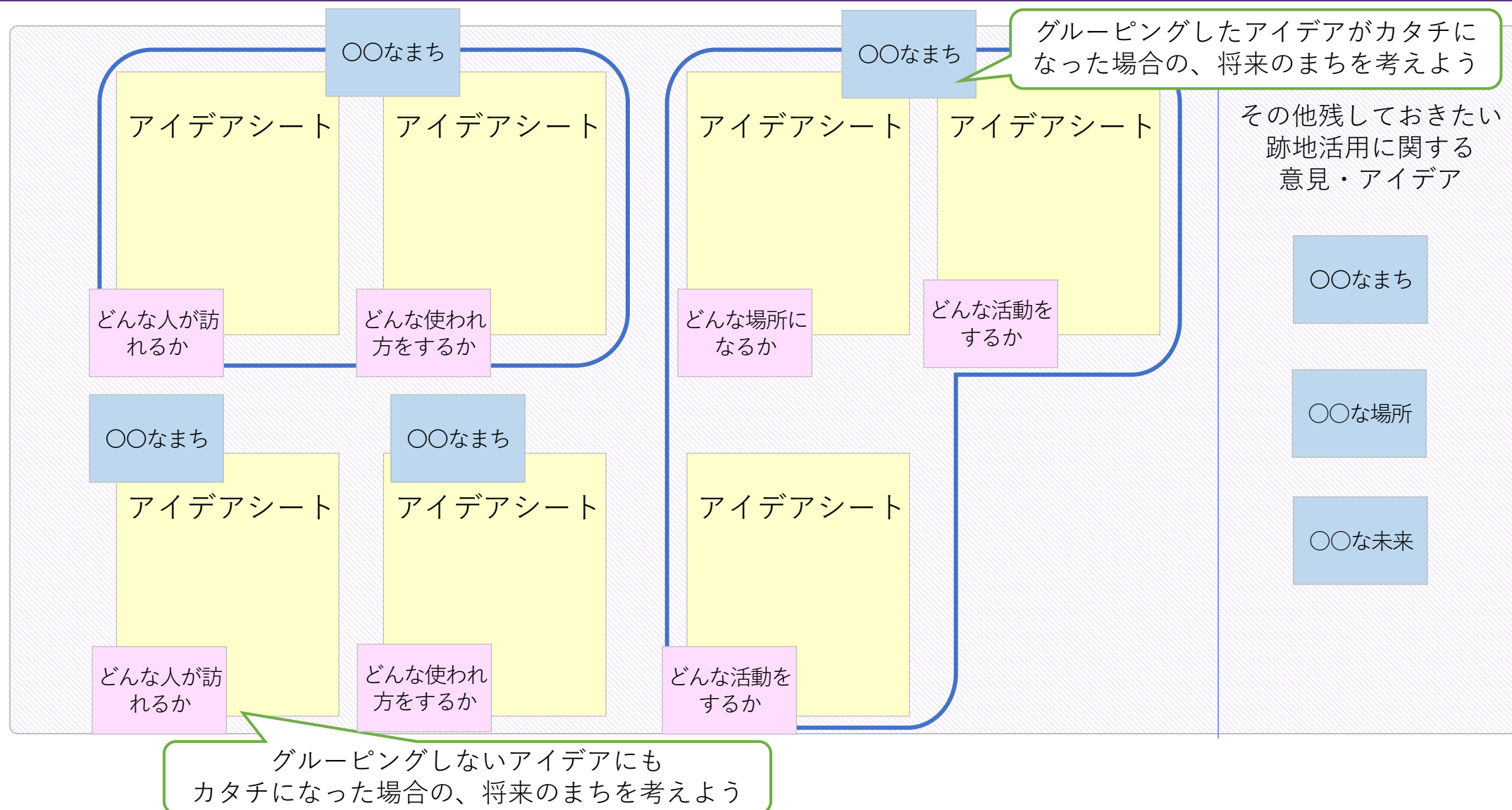
3分間で全体共有（発表）できるよう、発表の内容をまとめよう
※発表の仕方については、23ページ目で説明

■ペンに**赤色**のシールが貼ってある方は、全体共有（発表）をお願いします

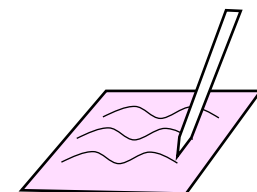




グループワーク：模造紙の使い方（例）

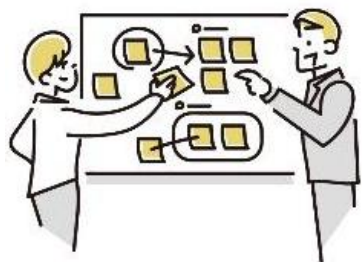


話し合ったことを多くの人に共有することが大切ですので、付箋の記入にご協力をお願いします。





STEPに沿って
3分で発表



STEP 1 アイデアと、提案した理由（黄色いアイデアシート）

グループで出たアイデアの、要点を中心に発表しましょう。

STEP 2 どんな人が、どんな活動をするか（ピンクの付箋）

アイデアについて、どんな人が訪れ、活動することをイメージしているか。
班で出た意見を発表しましょう。

STEP 3 50年後、100年後の跡地と阿佐谷のまち（青い付箋）

跡地やその周辺地域の50年後、100年後について班で出た意見を発表しましょう。

休憩 ☕
(10分間)



今回も会場の後方に **まちの模型** があります。
「50年後、100年後のまちはこうなっていたらいいな」 と思いながら、自由に眺めてみてください。



各グループ3分程度で、
グループ内で意見交換したアイデアの発表をお願いします。



テーブルファシリと、区の職員が模造紙をもち、代表の方はその場で発表をお願いします。



矢口先生からの講評

（早稲田大学 創造理工学部 建築学科教授）



閉会挨拶

- ① アンケートにご協力をお願いします。
- ② セッションの結果は後日区ホームページで公表予定です。
- ③ 名札や筆記用具は机に置いてください。

これまでの**あさがやまちづくりセッション**については、
右の二次元コードを参照いただくか、杉並区ホームページにて
「あさがやまちづくりセッション」と検索ください。

